

目 次

教育学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	2
入学者選抜要項について	9
（注）願書について	10
I. 課程（類），選修・専攻・コースの募集人員等	11
II. 一般選抜	
1. 出願資格	13
2. 併願	14
3. 出願期間	14
4. 選抜方法	14
5. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	14
6. 大学入学共通テスト受験教科・科目の確認表	24
7. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等	
(1) 前期日程	26
(2) 後期日程	29
8. 小論文の概要	30
9. 実技試験等の内容	31
10. 配点一覧表	38
III. 学校推薦型選抜	
1. 出願資格	40
2. 出願期間	42
3. 選抜方法	42
4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等	42
5. 小論文の概要	44
6. 実技試験等の内容	46
7. 配点一覧表	47
IV. スーパーアスリート推薦選抜	
1. 募集する課程（類），専攻・コースの募集人員	48
2. 出願資格	48
3. 出願期間	48
4. 選抜方法	48
5. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等	48
6. 小論文の概要	49
7. 配点	49
V. 帰国生選抜	
1. 出願資格	50
2. 出願期間	50
3. 選抜方法	50
4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等	51
5. 小論文の概要	54
6. 実技試験等の内容	56
7. 配点一覧表	57
VI. 私費外国人留学生選抜	
1. 出願資格	58
2. 出願期間	58
3. 選抜方法	58
4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等	59
5. 小論文の概要	62
6. 実技試験等の内容	64
7. 配点一覧表	65
VII. 国際バカロレア選抜	
1. 出願資格	66
2. 出願期間	66
3. 選抜方法	66
4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等	66
5. 配点一覧表	67
VIII. 受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談	68
IX. 学生募集要項の請求方法	68
X. ウェブサイトでの情報提供	69
令和2年度 入試結果情報	71

教育学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

東京学芸大学は、教育に関する深い理解と高い専門性をもって、社会のさまざまな分野で活躍する「有為の教育者」を志す人を求めています。

このため、本学では学生が次のような目標をもって大学の講義や演習、実習（教育実習等）、実験や自主ゼミナールに意欲的に取り組み、更に外国留学や各種の体験活動、サークル活動、インターンシップやボランティア活動等を通して、有意義で密度の濃い大学生活を送ることを期待します。

1. 深い教養と豊かな知識を身につけ、知的な創造力や探究心を磨くこと
2. 子どもに対する愛情と教える喜びを育むこと
3. 柔軟な感性と豊かなコミュニケーション能力を育むこと
4. 連帯感や粘り強い精神力を育むこと
5. 共生社会の実現に貢献すること
6. 外国語活用能力と国際的視野を獲得すること

本学は「有為の教育者」として直接に人間とかかわる人材を養成することから、入学者に対しては、以下に述べるような各課程の教育内容に関わる学修を高等学校段階までに達成しているのみならず、多様な人々との豊富な相互交流の経験を有していることを期待しています。

本学は、一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）、学校推薦型選抜の3つの方法で入学者の選抜を行います。

一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストを利用し、教育者を目指すにあたり基礎的な学習到達度を評価するとともに、教員又は教育支援人材への意欲・適性及び各課程・専攻・選修・コースに必要とされる知識を学科試験や実技試験、面接により評価します。

また、一般選抜（後期日程）では、前期日程同様大学入学共通テストを利用し、教育者を目指すにあたり基礎的な学習到達度を評価するとともに、教員又は教育支援人材への意欲・適性及び各課程・専攻・選修・コースに必要とされる知識を面接や実技試験により評価します。

学校推薦型選抜では、各課程・専攻・選修・コースにおいて面接や小論文、実技試験を行い、教育者になる強い意欲を有するかを評価するとともに、必要とされる知識を有するかを評価します。

この他、スーパーアスリート推薦選抜や、帰国生選抜、私費外国人留学生選抜、国際バカロレア選抜など、多様な選抜方法によって、多様な人材を受け入れることを目指しています。

課程（類） 選修・専攻・コース	アドミッション・ポリシー
初等教育教員養成課程（A類）	<p>本課程は、小学校の全教科等に関する幅広い知識・技能・指導力とともに、特定の教科や横断的領域に関する専門性をも兼ね備えた小学校教員、または幼児教育の専門的知識・技能・指導力を備えた幼稚園教員の養成を目的とし、各選修では以下のような人を求めています。</p> <p>なお、日本の小学校では全科担任制、幼稚園においては領域を総合的に指導する担任制となっていることから、本課程の入学者に対しては、どの選修においても、小学校・幼稚園で扱う教育内容に関連する諸科目等を高等学校段階まで学修し、教科の前提となる知識・技能を満遍なく身につけていることを期待しています。</p> <p>各選修のアドミッション・ポリシーは次のとおりです。</p>
国語選修	<p>本選修は、進展する国際化社会の将来を見据え、国語教育の研究活動を通じて国語教育への理解と実践性、創造性と開発能力、加えて日本語を世界の言語の一つとして捉える日本語教育の視点を身につけることにより、小学校への多様な社会的ニーズに対応できる人材を養成することを目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、国語教育に対する多角的な関心と教職への意欲を兼ね備えた人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
社会選修	<p>本選修は、社会科の内容と実践に関する専門性を持つ小学校教員を養成することを目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、社会の諸事象や諸課題について追究する意欲を持ち、学校現場でこれらを子どもと学びあい、ともに市民社会の一員として成長していくことを自らの喜びとして感じることを求めています。</p>

課程（類） 選修・専攻・コース	アドミッション・ポリシー
数 学 選 修	<p>本選修は、数学的能力の高い小学校教員を養成することを目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、①小学校算数の内容を考察し、算数教育の理論と実践についての素養を身につけたい人、②数学に対する興味と理解を深めたい人、③数学を学ぶことによって、自然や社会に対して自ら論理的に考える態度を育てたい人を求めています。</p>
理 科 選 修	<p>本選修は、教育現場で遭遇するさまざまな問題に対して自ら解決していくことのできる力量を備えた理科に強い教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、小学校において児童の自然科学に対する興味を喚起し、その理解を深めさせる教育に積極的に取り組む意欲を持っている人を求めています。</p>
音 楽 選 修	<p>本選修は、優れた音楽的資質と教養を備え、小学校音楽において指導的役割を果たすことのできる教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、実技試験、面接試験を課し、後期日程では実技試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い技能・表現力について評価し、高度な専門性と優れた実践力を身につけて、子どもの音楽的関心や音楽的素質を高めるために、積極的に活動する意欲を持っている人を求めています。</p>
美 術 選 修	<p>本選修は、美術のさまざまな技能と知識を基礎に、児童の成長に欠かせない豊かな感性と創造力を育む表現力、鑑賞力、コミュニケーション能力を身につけた、図画工作専科の教員や美術に強い小学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では実技試験、面接試験を課し、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い技能・表現力について評価し、将来、美術の魅力を人に伝える真の実力を備えた人材として活躍を目指す、美術が好きで教育に関心を持つ人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、実技試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
保 健 体 育 選 修	<p>本選修は、運動・スポーツ・健康に関する指導力・実践力と専門的理論を身につけた小学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では実技試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い技能・表現力について評価し、運動・スポーツ・健康に対する強い関心を有し、保健体育を通して児童に身体活動の喜びや健康の大切さを伝えていくことに意欲あふれる人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、実技試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
家 庭 選 修	<p>本選修は、家庭科を中心とした専門的な知識や技能の修得を通して、子供の生活自立を支援できる小学校教員を養成します。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い表現力・思考力について評価し、主体的に学び自ら生活を創造し、何に対しても意欲的に取り組み、学校教員として活躍しようとする意欲を持っている人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>

課程（類） 選修・専攻・コース	アドミッション・ポリシー
英 語 選 修	<p>本選修は、確かな英語力と英語指導力をそなえ、児童の中学校以降の学習に結びつく、英語学習のスタートを援助できる小学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験（ディクテーションを含む）、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、小学生の教育に興味を持ち、特に小学生を対象にした英語教育の専門的な知識と技術の習得に熱意のある人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
学 校 教 育 選 修	<p>本選修は、教育学の高度な専門的知識に基づき優れた実践力を発揮する小学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該選修における高い表現力・思考力について評価し、教育思想、教育史、教育方法、教育と社会との関わり、学校・学級経営など学校教育に関する諸問題に関心を持つ人、子ども・教師・家庭・地域などに積極的に関わっていこうとする人を求めています。</p>
学 校 心 理 選 修	<p>本選修は、子どもや学校の問題に対して心理学の専門性を持って対応できる小学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程及び後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該選修における高い表現力・思考力について評価し、教職への強い意欲を持ち、教育に関する深い造詣と心理学の理論や方法を用いて、学校教員として活躍しようとする人を求めています。</p>
国 際 教 育 選 修	<p>本選修は、変動する国際社会の一員として生きていく主体性と世界に通用する広い視野を持つ小学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該選修における高い表現力・思考力について評価し、国際的な教育支援や教育交流など教育の国際化に関心があり、子どもとともに異なる文化を持つ人々を理解し受容しようとする態度を有する人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、コミュニケーション能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
情 報 教 育 選 修	<p>本選修は、情報通信技術（ICT）の専門的知識に基づき、学校における教育の情報化の指導的役割を果たすことのできる小学校教員の養成を目的とし、子どもの教育に熱意を持ち、①小学校での情報教育やICT活用に関心のある人、②コンピュータやインターネット技術に興味のある人を求めています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、面接試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該選修における高い学力・思考力について評価します。</p>
環 境 教 育 選 修	<p>本選修は、文理それぞれの個別科学からのアプローチを大切にすると同時に、教科（領域）横断的・総合的な環境教育の特色を体得した小学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該選修における高い学力・思考力について評価し、グローバルな視野を持ちながら地域に根ざして、持続可能な社会の創造に向けて自らを活かし、他者と連携し、協働する意欲を持つ人を求めています。</p>
も の づ くり 技 術 選 修	<p>本選修は、ものづくり力の基礎となる技能、技術、科学を結びつけた能力を育成する小学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では面接試験（口頭試問含む）を課し、教員への意欲・適性及び当該選修における高い学力について評価し、中学校や高等学校につながるリベラルアーツの視点に立った技術教育の基礎としてのものづくり力を身に付けるため、身のまわりの生活や学校、社会を協働して切り開き、広くイノベーションを推し進めていくことに意欲がある人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、コミュニケーション能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>

<p>課程（類） 選修・専攻・コース</p>	<p>アドミッション・ポリシー</p>
<p>幼 児 教 育 選 修</p>	<p>本選修は、高度な専門性と豊かな実践力を備えた保育者の養成を目的としています。 入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では実技試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該選修における高い表現力・思考力・技能について評価し、十分な基礎学力を持ち、自ら考え課題を発見し対処していく探求心や問題解決力、コミュニケーション力や表現力を有し、幼稚園教員を目指す明確な意志を持ち、たゆまず努力する人を求めています。 学校推薦型選抜では、小論文試験、実技試験、面接試験を課し、コミュニケーション能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
<p>中等教育教員養成課程（B類）</p>	
<p>本課程は、中学校・高等学校の教科に関する高度な専門性と、優れた実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的とし、各専攻においては、以下のような人を求めています。 なお、日本の中学校・高等学校においては教科ごとの担任制となっていることから、本課程の入学者に対しては、それぞれの専攻において養成する教員の担当教科に関連する諸科目を高等学校段階まで学修し、教科の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身につけていることを期待しています。 各専攻のアドミッション・ポリシーは次のとおりです。</p>	
<p>国 語 専 攻</p>	<p>本専攻は、進展する国際化社会の将来を見据え、国語教育の研究活動を通じて国語教育の内容と実践に関する高度な専門性、創造性と開発能力を身につけ、社会のグローバル化に伴い多様化する中学校・高等学校へのニーズに対応できる人材を養成することを目的としています。 入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、小論文試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、国語教育並びにその基盤となる言語・文学に対する深い関心と教職への意欲を兼ね備えた人を求めています。 学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
<p>社 会 専 攻</p>	<p>本専攻は、社会科の内容と実践に関する高度な専門性を持つ中学校・高等学校教員の養成を目的としています。 入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、社会の諸事象や諸課題について追究し、社会に対する深い洞察力を養いたいという意欲を持ち、学校現場で生徒とともに学びあい、市民社会の一員として成長していくことを自らの喜びとして感じることを求めています。</p>
<p>数 学 専 攻</p>	<p>本専攻は、数学的能力の高い中学校・高等学校教員の養成を目的としています。 入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、①中学校・高等学校数学の内容、数学教育の理論と実践についての素養を身につけたい人、②数学への興味と理解を深めたい人、③数学を学ぶことで、自然や社会に対し自ら論理的に考える態度を育てたい人を求めています。</p>
<p>理 科 専 攻</p>	<p>本専攻は、自然科学に関する深い学問的造詣を有し、中学校・高等学校の理科教育を担当するとともに、教育現場のさまざまな問題に対し解決の道を見つけることのできる教員の養成を目的としています。 入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、生徒に自然科学に対する興味を持たせ理解を深めさせる教育に積極的に取り組む意欲のある人を求めています。</p>
<p>音 楽 専 攻</p>	<p>本専攻は、音楽実技の専門性を有するとともに、音楽教育の理論と実践について高い素養を備えた中学校・高等学校の教員の養成を目的としています。 入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程及び後期日程では筆記試験、実技試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い技能・表現力について評価し、高度な専門性と優れた実践力の育成に必要な基礎的能力を有し、音楽教育の発展に意欲的に取り組もうとする人を求めています。</p>

課程（類） 選修・専攻・コース	アドミッション・ポリシー
美術専攻	<p>本専攻は、美術の高度な技能と知識を基礎に、生徒に求められる豊かな感性と創造力を育む表現力、鑑賞力、コミュニケーション能力を身につけた、中学校の美術や高等学校の美術・工芸の教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では実技試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い技能・表現力について評価し、将来、美術の魅力や人を伝える真の実力を備えた専門家として活躍を目指す、美術が好きで教育に関心を持つ人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、実技試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
保健体育専攻	<p>本専攻は、運動・スポーツ・健康に関する専門的理論と指導力・実践力を身につけた中学校・高等学校の保健体育の教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では実技試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い技能・表現力について評価し、運動やスポーツ、または健康に関心があり、保健体育の授業を通して生徒に身体活動の喜びや健康の大切さを伝えていくことに意欲あふれる人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、実技試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
家庭専攻	<p>本専攻は、生活科学に関する高度な専門性と優れた実践力を身につけた中学校・高等学校の家庭科の教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い表現力・思考力について評価し、生活を科学的にとらえ時代に合わせて新たな暮らし方を提案していく力を養い、主体的に学び自ら生活を創造して何に対しても意欲的に取り組もうとする人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
技術専攻	<p>本専攻は、中学校（技術）及び高等学校（工業）の指導内容の知識と背景となる原理について熟知した教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では面接試験（口頭試問含む）を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、教員になろうとする志が高く、①科学に関連する基礎知識を持ち、技術に関わる分野を積極的に学習できる人、②技術に関連する分野への探究心及び努力をいとわない精神を有する人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
英語専攻	<p>本専攻は、英語を学ぶ楽しさを教え、英語学習を適切に援助することのできる卓越した指導力を持つ中学校・高等学校教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験（ディクテーションを含む）、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力について評価し、中学生、高校生の教育に興味を持ち、高い英語技能と英語文化に関する深い教養を身につけることに熱意があり、外国語学習に粘り強く努力のできる人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
書道専攻	<p>本専攻は、高度な専門的知識、技能及び指導法等を身につけた高等学校の芸術科書道教員や中学校国語科教員の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、実技試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該教科における高い学力・思考力・技能・表現力について評価し、高等学校の書道や中学校の国語を担当する教員として、書道や国語科の書写に関する優れた専門性や実践力を身につけ、生徒の芸術的感性を伸ばす教育に意欲のある人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、実技試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>

<p>課程（類） 選修・専攻・コース</p>	<p>アドミッション・ポリシー</p>
<p>特別支援教育教員養成課程（C類）</p> <p>本課程は、特別支援教育全般とともに、聴覚障害、言語障害、知的発達障害、学習障害に関する高い専門性と優れた実践力を兼ね備えた教育者の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験、面接試験を、後期日程では小論文試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該課程における高い表現力・思考力について評価し、障害がある子どもの理解と支援への強い関心と、特別な教育的ニーズを有する子どもの教育に情熱を持って携わる意欲のある人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p> <p>なお、日本の特別支援学校では幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を施すことから、本課程の入学者に対しては、それぞれの学校で扱う教育内容に関連する諸科目等を高等学校まで学修し、教科等の指導の前提となる知識・技能を満遍なく身につけていることを期待しています。</p>	
<p>養護教育教員養成課程（D類）養護教育専攻</p> <p>本課程は、子どもの多様で複雑な健康課題に対応し、発達段階を踏まえて心とからだの両面から子どもの健康支援ができる養護教諭の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験、面接試験を課し、教員への意欲・適性及び当該課程における高い資質や人間性について評価し、子どもや社会の健康課題に対する幅広い関心と、積極的に子どもや社会と関わろうとする意思を持ち、養護教諭になる意欲が強い人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、教員の基礎的な資質・能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p> <p>養護教諭になるには、児童生徒、教職員の実態に即した健康相談や健康教育、保健指導等が実践できる専門的知識と技術を、大学4年間で身に付ける必要があります。そこで本課程では、人間の健康や病気を理解する基礎力として、大学入学までに、特に「生物」と「保健」をしっかり学修して、入学されることを期待します。</p>	
<p>教育支援課程（E類）</p> <p>教育をめぐる現在の日本の社会状況は非常に複雑なものとなっています。そのため、学校・家庭・地域が連携しつつ、教育の営みを幅広く支援していく必要があります。</p> <p>本課程では、教育の基礎知識と教育支援の専門知識、ならびに協働力・ネットワーク力・マネジメント力を習得することを通じて、学校現場と協働して、様々な現代的な教育課題の解決を支援する意欲と能力を備え、自ら考え行動できる教育支援人材を養成します。</p> <p>そこで本課程では、このような教育理念に共鳴するとともに、様々な教育現場をフィールドにして高度の実践力を身につけ、将来、学校、地域、教育行政、教育関連企業、教育関連NPO等の場で教育支援人材として活躍することに、強い意志と意欲を持って学ぼうとする人を求めています。</p> <p>なお、本課程の入学者に対しては、高等学校段階までの各教科などの基礎的な学力をもとに、教育・人間・社会・文化・スポーツなどに関する問題や課題に広く関心を寄せ、それらに取り組む意欲や態度を有していることを期待しています。</p> <p>各コースのアドミッション・ポリシーは次のとおりです。</p>	
<p>教育支援専攻 生涯学習コース</p>	<p>本コースは、広い視野と高い専門性、実践的指導力をもって、地域や職場、公民館・図書館・博物館、学校などにおいて互いにつながりあい広がる多彩な市民学習活動を支援する人材、および文化財とその保存に強い興味と関心を持ち、その教育的活用に意欲的な人材の養成を目的としています。</p> <p>入学者選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教育支援人材への意欲・適性及び表現力・思考力・コミュニケーション能力について評価し、ものごとを社会的・科学的・批判的に見る力、他に共感し、交流し、協働していく態度を大切にする人を求めています。</p>

課程（類） 選修・専攻・コース	アドミッション・ポリシー
教育支援専攻 カウンセリングコース	<p>本コースは、学校現場や社会で生じている心の問題に対応するために必要な心理学の理論や方法を学び、専門的な心の支援を実践する力を持った人材の養成を目的としています。</p> <p>入学選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では面接試験を課し、教育支援人材への意欲・適性及び当該コースにおける高い表現力・思考力について評価し、教育支援に対する興味関心が高く、心理学の理論や方法論を用いてスクールカウンセラー等の対人援助職として活躍しようとする人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、コミュニケーション能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
教育支援専攻 ソーシャルワークコース	<p>本コースは、社会福祉の専門的知識と技術をもって、学校をはじめとする関連領域の専門家と協働しながら、児童、生徒、家族および関係者に対するソーシャルワークを実践できる社会福祉の専門家の養成を目的としています。</p> <p>入学選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験を課し、教育支援人材への意欲・適性及び当該コースにおける高い表現力・思考力について評価し、社会的課題を多角的に理解しようとする意欲、柔軟な思考力、確かな基礎学力を持った人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、コミュニケーション能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
教育支援専攻 多文化共生教育コース	<p>本コースは、グローバル化による多文化共生社会の進展に伴って増加しつつある日本の外国人や在外日本人に対して、学校等と協働して教育上の支援をしたり、海外において様々な教育支援活動をする人材の養成を目的とし、異なる文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を持つ人々と積極的にコミュニケーションをして国際的に活躍したいという人を求めています。</p> <p>入学選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験を、後期日程では面接試験を課し、教育支援人材への意欲・適性及び当該コースにおける高い表現力・思考力について評価します。</p>
教育支援専攻 情報教育コース	<p>本コースは、教育の情報化と情報通信技術（ICT）の進展に対応して、情報科学およびICTに関する専門的な知識とスキルをもとに、情報教育や教育の情報化に貢献できる人材の養成を目的とし、学校、地域社会、関連企業等において、情報教育を推進したい人や、ICTと人間や社会との関係を科学的に探究したい人、ICTの開発者として活躍したいという人を求めています。</p> <p>入学選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では筆記試験、面接試験を、後期日程では面接試験を課し、教育支援人材への意欲・適性及び当該コースにおける高い学力・表現力・思考力について評価します。</p>
教育支援専攻 表現教育コース	<p>本コースは、芸術表現に関する理論と実践的経験を学び、教育を含む社会的なコミュニケーションの場で応用できる人材の養成を目的としています。</p> <p>入学選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では小論文試験を課し、教育支援人材への意欲・適性及び当該コースにおける高い表現力・思考力について評価し、演劇、音楽、映像、美術、パフォーマンス・アート、文学等の多様なジャンルに対する興味と、いずれかのジャンルの実践経験を持ち、芸術体験の感動を教育などさまざまな方法を通じて伝えたいという意欲のある人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、面接試験を課し、コミュニケーション能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>
教育支援専攻 生涯スポーツコース	<p>本コースは、体育、スポーツ、レクリエーションの各分野において、体力づくり、競技力の向上、健康づくり等を担う専門的指導者の養成を目的としています。</p> <p>入学選抜においては、大学入学共通テストでは基礎的な学習到達度を評価し、一般選抜の前期日程では実技試験、面接試験を課し、教育支援人材への意欲・適性及び当該コースにおける高い技能について評価し、学校教育現場や社会体育におけるスポーツクラブ等において体育指導、スポーツ指導あるいは健康づくりや体力づくりに強く関心を持つ人を求めています。</p> <p>学校推薦型選抜では、小論文試験、実技試験、面接試験を、スーパーアスリート推薦選抜では小論文試験、面接試験を課し、コミュニケーション能力や優れた人間性を有する人を求めています。</p>

入学者選抜要項について

この選抜要項は、令和3年度入学者選抜の基本的事項を記載したものです。

1. それぞれの選抜の詳細は「学生募集要項」に記載されます。

学生募集要項の種別及び発行予定は次のとおりです。

学生募集要項の種別	発行予定
国際バカロレア選抜学生募集要項	令和2年8月上旬
学校推薦型選抜学生募集要項	令和2年9月中旬
スーパーアスリート推薦選抜学生募集要項	
帰国生選抜学生募集要項	令和2年10月上旬
私費外国人留学生選抜学生募集要項	
一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項	令和2年11月上旬

学生募集要項の請求方法は、「IX. 学生募集要項の請求方法」を参照してください。

2. 入学者選抜等の日程は次のとおりです。

事項	一般選抜 (前期日程)	一般選抜 (後期日程)	学校推薦 型選抜	スーパー アスリート 推薦選抜	国際バカロレア選抜	帰国生 選抜	私費外国人 留学生選抜
出願期間	令和3年1月25日(月) ～2月5日(金)		令和2年11月2日(月) ～11月5日(木)		令和2年10月1日(木) ～10月5日(月)	令和2年12月22日(火) ～12月24日(木)	
試験期日	令和3年2月25日(木) ～2月26日(金)	令和3年3月12日(金) ～3月13日(土)	令和2年11月28日(土)		令和2年11月28日(土)	令和3年2月25日(木) ～2月26日(金)	
合格者発表	令和3年3月6日(土)	令和3年3月20日(土)	令和2年12月3日(木)		令和2年12月3日(木)	令和3年3月6日(土)	
入学手続日	令和3年3月15日(月)	令和3年3月26日(金)	令和2年12月14日(月)		令和2年12月14日(月)	令和3年3月15日(月)	

3. この選抜要項では、「個別学力検査等」を「東京学芸大学入学試験」と表記しています。
4. この選抜要項では、「課程」の名称を次のように「類」で表記している箇所があります。

課程の名称	類
初等教育教員養成課程	A 類
中等教育教員養成課程	B 類
特別支援教育教員養成課程	C 類
養護教育教員養成課程	D 類
教育支援課程	E 類

5. 東京学芸大学入学試験についての問い合わせ先は次のとおりです。

東京学芸大学 学務部 入試課
 〒184-8501
 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
 電話 042-329-7204
 (平日9時~12時, 13時~17時)

(注) 願書について

出願に必要な本学所定の用紙等については、「学生募集要項」に綴じ込まれています。
 このため、出願に際しては、この選抜要項とは別に、各種「学生募集要項」が必要となります。
 (学生募集要項の配布時期は9ページ参照)

I. 課程(類), 選修・専攻・コースの募集人員等

課程(類)	選修・専攻・コース	入学定員	募 集 人 員								特別事項 12頁参照	
			一般選抜 (前期日程)	一般選抜 (後期日程)	学校推薦 型選抜	スーパー アスリート 推薦選抜	帰国生選抜	私費外国人 留学生選抜	国際バカロ レア選抜	高大接続 プログラム		
初等教育教員 養成課程 (A類)	国語選修	80	55	10	15	-	-	若干名	若干名	若干名	若干名	*⑦
	社会選修	70	50	20	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	*③
	数学選修	65	50	15	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	*④
	理科選修	85	60	25	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	*⑤
	音楽選修	25	17	8	-	-	〃	〃	-	〃	〃	
	美術選修	25	15	3	7	-	〃	〃	若干名	〃	〃	
	保健体育選修	40	30	-	10	-	〃	〃	〃	〃	〃	
	家庭選修	15	12	-	3	-	〃	〃	〃	〃	〃	*①
	英語選修	15	8	-	7	-	〃	〃	〃	〃	〃	
	学校教育選修	20	15	5	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	
	学校心理選修	20	12	8	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	
	国際教育選修	15	12	-	3	-	〃	〃	〃	〃	〃	
	情報教育選修	20	15	5	-	-	〃	〃	-	〃	〃	
	環境教育選修	20	15	5	-	-	〃	〃	-	〃	〃	
	ものづくり技術選修	10	7	-	3	-	〃	〃	若干名	〃	〃	*②
幼児教育選修	20	16	-	4	-	〃	〃	-	〃	〃		
計		545	389	104	52	-						
中等教育教員 養成課程 (B類)	国語専攻	20	15	-	5	-	-	若干名	若干名	若干名	若干名	
	社会専攻	25	20	5	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	*③
	数学専攻	25	20	5	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	*④
	理科専攻	45	30	15	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	*⑤
	音楽専攻	20	12	8	-	-	〃	〃	-	〃	〃	
	美術専攻	20	15	-	5	-	〃	〃	若干名	〃	〃	
	保健体育専攻	20	10	-	10	-	〃	〃	〃	〃	〃	
	家庭専攻	10	8	-	2	-	〃	〃	〃	〃	〃	*①
	技術専攻	10	8	-	2	-	〃	〃	〃	〃	〃	*②
	英語専攻	15	8	-	7	-	〃	〃	〃	〃	〃	
	書道専攻	20	16	-	4	-	〃	〃	-	〃	〃	
計		230	162	33	35	-						
特別支援教育教員養成課程(C類)		40	30	5	5	-	-	若干名	若干名	若干名	若干名	*⑥
養護教育教員養成課程(D類)	養護教育専攻	10	6	-	4	-	-	若干名	若干名	-	若干名	
教育支援課程 (E類)	教育支援専攻 生涯学習コース	35	30	5	-	-	-	若干名	若干名	若干名	-	*⑧
	教育支援専攻 カウンセリングコース	20	13	-	7	-	-	〃	〃	〃	-	
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	20	18	-	2	-	-	〃	〃	-	-	
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	40	30	10	-	-	-	〃	〃	若干名	若干名	*⑨
	教育支援専攻 情報教育コース	15	10	5	-	-	-	〃	〃	-	〃	
	教育支援専攻 表現教育コース	20	15	-	5	-	-	〃	〃	-	-	
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	35	18	-	7	10	-	〃	〃	若干名	若干名	
	計		185	134	20	21	10					
合計		1010	721	162	117	10						

(注1) 一般選抜の募集人員には、帰国生選抜、私費外国人留学生選抜、国際バカロレア選抜の若干名を含む。高大接続プログラム(東京学芸大学附属高等学校及び東京学芸大学附属国際中等教育学校からの特別入試)の若干名は入学定員に含める。

(注2) 学校推薦型選抜・スーパーアスリート推薦選抜の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充する。

課程（類）、選修・専攻・コース別の特別事項

(1) 一般選抜【前期日程】において第2志望を認める選修・専攻

*① A類家庭選修とB類家庭専攻

A類家庭選修の志願者はB類家庭専攻を第2志望とすることができ、B類家庭専攻の志願者はA類家庭選修を第2志望とすることができる。

*② A類ものづくり技術選修とB類技術専攻

A類ものづくり技術選修の志願者はB類技術専攻を第2志望とすることができ、B類技術専攻の志願者はA類ものづくり技術選修を第2志望とすることができる。

(2) 一般選抜【後期日程】において第2志望を認める選修・専攻

*③ A類社会選修とB類社会専攻

A類社会選修の志願者はB類社会専攻を第2志望とすることができ、B類社会専攻の志願者はA類社会選修を第2志望とすることができる。

*④ A類数学選修とB類数学専攻

A類数学選修の志願者はB類数学専攻を第2志望とすることができ、B類数学専攻の志願者はA類数学選修を第2志望とすることができる。

*⑤ A類理科選修とB類理科専攻

A類理科選修の志願者はB類理科専攻を第2志望とすることができ、B類理科専攻の志願者はA類理科選修を第2志望とすることができる。

(3) 専攻の決定を第2学年進級時に行う課程

*⑥ 特別支援教育教員養成課程（C類）

この課程には、聴覚障害教育専攻、言語障害教育専攻、発達障害教育専攻及び学習障害教育専攻の4専攻がある。専攻の決定は、第2学年進級時に行う。

(4) コースの決定を第2学年進級時に行う選修

*⑦ A類国語選修

この選修には、日本語教育コースがある。コースの決定は、第2学年進級時に行う。

(5) サブコースの決定を第2学年進級時に行うコース

*⑧ 生涯学習コース

このコースには、生涯学習サブコース及び文化遺産教育サブコースがある。サブコースの決定は、第2学年進級時に行う。

*⑨ 多文化共生教育コース

このコースには、多言語多文化サブコース及び地域研究サブコースがある。サブコースの決定は、第2学年進級時に行う。

Ⅱ. 一般選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当し、かつ、本学が指定する令和3年度大学入試共通テストの受験を要する教科・科目をすべて受験した者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一つに該当する者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、18歳に達した者
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(注) 上記出願資格⑥により出願しようとする者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければならないので、希望する者は、以下の要領で申請書類を提出すること。

○提出書類

1. 申請書（本学所定様式：ウェブサイト上の様式をプリントアウトして使用）
 2. 卒業（修了）又は卒業（修了）見込み証明書
 3. 調査書又は成績証明書等（出身学校等の長が作成し、厳封したもの）
 4. 出身学校等の教育課程が明らかとなる資料（学則、カリキュラム表、授業時間数一覧など）
 5. 返信用封筒（長形3号の封筒に申請者の宛先を明記し、書留速達による返信用切手（809円）を貼付すること）
- *上記2～4の書類については、「高等学校の課程に相当する課程以降の学歴に関するものすべて」を提出すること。

*他に必要に応じて証明書等の提出を求める場合がある。

○審査体制・審査方法

本学学部入試委員会において、提出書類等に基づき、適正に審査を行う。

○提出先

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学 学務部 入試課

○提出方法及び提出期限（提出期限を厳守すること）

1. 第1回（大学入学共通テストに出願する者）
封筒の表に「第1回入学資格審査申請書類在中」と明記の上、令和2年8月26日（水）から令和2年8月28日（金）の期間内に、書留速達にて郵送必着。
2. 第2回（大学入学共通テストを受験した者）
封筒の表に「第2回入学資格審査申請書類在中」と明記の上、大学入学共通テスト終了後、令和3年1月19日（火）から令和3年1月21日（木）の期間内に、書留速達にて郵送必着。

*提出された書類は返還しない。

○審査結果の通知

本学の定める様式により申請者本人に通知する。

なお、本学の入学資格を認定された者は、令和3年度本学入学試験（一般選抜）の出願時に、認定書の写し1部が必要となるので、前もって写しをとっておくこと。

*入学資格審査については、本学ウェブサイト（<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/gakubu/youkou.html>）を参照のこと。

2. 併願

本学の前期日程及び後期日程から、それぞれ1つの課程（類）、選修・専攻・コースに出願することができる。

3. 出願期間

令和3年1月25日（月）から2月5日（金）まで（前期日程、後期日程とも同じ）

4. 選抜方法

大学入学共通テストと東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定する。

なお、大学入学共通テストの成績では学力の3要素のうち「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価する。東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。

5. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等

- (1) 本学では大学入学共通テスト（大学入試センター試験）の過年度の成績は利用しないので、令和3年度大学入学共通テストを必ず受験すること。
- (2) 大学入学共通テストの地理歴史、公民並びに理科の基礎を付さない科目において、2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」（注）の成績を用いる。なお、詳細については24頁6. 大学入学共通テスト受験教科・科目の確認表を確認すること。
- (3) 大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択する受験者は、リーディングとリスニングの双方を解答すること。ただし、リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮により受験が免除された場合は、リーディングのみとする。
- (4) 地理歴史、公民を選択する場合は、「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理、政治・経済」の中から選択すること（『倫理、政治・経済』は1つの科目である）。
- (5) 数学①を選択する場合は『数学I・数学A』を受験すること（『数学I・数学A』は1つの科目である）。
- (6) 数学②を選択する場合は『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』の中から選択すること（『数学II・数学B』は1つの科目である）。
なお、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において専門教育を主とする学科等における専門教育に関するこれらの科目を履修した者、文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科の修了（見込み）者及び大学入学資格検定合格者のうちこれらの科目の合格者に限る。
- (7) 理科を選択する場合は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の中から選択すること。
ただし、基礎を付した科目の場合は2科目を選択すること。

（注） 令和3年度大学入学共通テストの地理歴史、公民並びに理科の基礎を付さない科目の試験時間において2科目を受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とする。

課程(類), 選修・専攻・コース		日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	
			教科	科目等
初等教育教員養成課程(A類)	国語選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した 科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の 利用を可とする。)」
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B } 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1
				[5教科7科目又は6教科7科目]
	社会選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から2 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B } 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1
				[5教科7科目又は6教科7科目]
	数学選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎 を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目 の同一名称科目の利用は可とする。)
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B } 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1
				[5教科7科目]
	理科選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎 を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目 の同一名称科目の利用は可とする。)
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B } 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1
				[5教科7科目]
音楽選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)	
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。	
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須)	
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1	
			[5教科5科目]	

課程(類), 選修・専攻・コース		日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	
			教科	科目等
初等教育教員養成課程(A類)	美術選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須)
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科5科目]
	保健体育選修	前期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須)
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科5科目]
	家庭選修	前期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」 } から3
数学			数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1	
外国語			英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	
英語選修	前期	国語	国語(必須)	
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」 } から3	
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1	
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	

課程(類), 選修・専攻・コース		日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	
			教科	科目等
初等教育教員養成課程(A類)	学校教育選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
初等教育教員養成課程(A類)	学校心理選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
初等教育教員養成課程(A類)	国際教育選修	前期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
初等教育教員養成課程(A類)	情報教育選修	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目]

課程(類), 選修・専攻・コース	日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	
		教科	科目等
初等教育教員養成課程(A類)	環境教育選修 前期 及び 後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B } から1 簿記・会計, 情報関係基礎 }
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
	ものづくり技術選 前期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用は可とする。)
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B } から1 簿記・会計, 情報関係基礎 }
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目]
幼児教育選修 前期	国語	国語(必須)	
	地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」	
	数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B } から1 簿記・会計, 情報関係基礎 }	
	外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	
中等教育教員養成課程(B類) 国語専攻 前期	国語	国語(必須)	
	地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」	
	数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B } から1 簿記・会計, 情報関係基礎 }	
	外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	

課程(類), 選修・専攻・コース	日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	
		教科	科目等
中等教育教員養成課程(B類)	社会専攻 前期及び後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から2
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
	数学専攻 前期及び後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用は可とする。)
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目]
	理科専攻 前期及び後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用は可とする。)
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目]
	音楽専攻 前期及び後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B から1 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。 } から3
		数学	『数学Ⅰ・A』
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科5科目]
美術専攻 前期	国語	国語(必須)	
	地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B から1 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。 } から3	
	数学	『数学Ⅰ・A』	
	外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科5科目]	
保健体育専攻 前期	国語	国語(必須)	
	地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B } から1 現代社会, 『倫理, 政治・経済』	
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。	
	数学	数学Ⅰ・数学A(必須)	
	外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科5科目]	

課程(類), 選修・専攻・コース		日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等		
			教科	科目等	
中等教育教員養成課程(B類)	家庭専攻	前期	国語	国語(必須)	
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」	から3
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1	
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	
	技術専攻	前期	国語	国語(必須)	
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用は可とする。)	
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1	
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目]	
	英語専攻	前期	国語	国語(必須)	
			地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」	から3
			数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1	
			外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]	
書道専攻	前期	国語	国語(必須)		
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。		
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須)		
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科5科目]		

課程(類), 選修・専攻・コース	日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	
		教科	科目等
特別支援教育 教員養成課程 (C類)	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した 科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の 利用を可とする。)」 } から3
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
養護教育教員養成課程 (D類)	前期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎 を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目 の同一名称科目の利用は可とする。)
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目]
教育支援課程 (E類)	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した 科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の 利用を可とする。)」 } から3
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
教育支援専攻 カウンセリングコース	前期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した 科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の 利用を可とする。)」 } から3
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]

課程(類), 選修・専攻・コース	日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	
		教科	科目等
教育支援専攻 ソーシャルワークコース	前期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」 } から3
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
教育支援専攻 多文化共生教育コース	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」 } から3
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]
教育支援専攻 情報教育コース	前期 及び 後期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。(基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用は可とする。)
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目]
教育支援専攻 表現教育コース	前期	国語	国語(必須)
		地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B } から1又は2 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。」 又は 「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2 ただし, 基礎を付した科目を利用する場合は, 基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 (基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。)」 } から3
		数学	数学Ⅰ・数学A(必須) 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計, 情報関係基礎 } から1
		外国語	英語(リスニングを含む), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1 [5教科7科目又は6教科7科目]

教育支援課程(E類)

課程（類）， 選修・専攻・コース		日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等	
			教科	科目等
教育支援課程 （E類）	教育支援専攻 生涯スポーツコース	前期	国語	国語（必須）
			地理歴史 公民	世界史B，日本史B，地理B 現代社会，『倫理，政治・経済』 } から1
			理科	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎，物理，化学，生物，地学 から1 ただし，基礎を付した科目の場合は，2科目を利用する。
			数学	数学I・数学A（必須）
			外国語	英語（リスニングを含む），ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語 から1 [5教科5科目]

6. 大学入学共通テスト受験教科・科目の確認表

下記の表により、本学が指定する令和3年度大学入学共通テストの教科・科目について確認すること。

志願する類、選修・専攻・コースの確認欄に○印を記入し、すべてに○印の入った者は本学の指定する教科・科目を受験していることとなる。

本学が指定する教科・科目を1つでも受験していない者は、出願無資格者となる。

類、選修・専攻・コース	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等		確認
	教科	科目等	
A類・社会選修 B類・社会専攻	国語	国語（必須）	
	地理歴史 公民	世界史B、日本史B、地理B 現代社会、『倫理、政治・経済』 } から2	
	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 から1 ただし、基礎を付した科目の場合は、2科目を利用する。 注1	
	数学	数学Ⅰ・数学A（必須） 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計、情報関係基礎 } から1	
	外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語 から1	
[5教科7科目又は6教科7科目]			

注1：理科において「基礎を付す科目2科目」と「基礎を付さない科目1科目」を受験した場合は、高得点の成績を用いる。また、理科において「基礎を付さない科目2科目」を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を用いる。

類、選修・専攻・コース	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等		確認
	教科	科目等	
A類・数学選修 A類・理科選修 A類・情報教育選修 A類・ものづくり技術選修 B類・数学専攻 B類・理科専攻 B類・技術専攻 D類・養護教育専攻 E類・教育支援専攻・情報教育コース	国語	国語（必須）	
	地理歴史 公民	世界史B、日本史B、地理B 現代社会、『倫理、政治・経済』 } から1 注2	
	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 から2 ただし、基礎を付した科目を利用する場合は、基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。（基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用は可とする。）	
	数学	数学Ⅰ・数学A（必須） 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計、情報関係基礎 } から1	
	外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語 から1	
[5教科7科目]			

注2：地理歴史、公民において2科目を受験した場合は、「第1解答科目」の成績を用いる。

類、選修・専攻・コース	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等		確認
	教科	科目等	
A類・国語選修 A類・家庭選修 A類・英語選修 A類・学校教育選修 A類・学校心理選修 A類・国際教育選修 A類・環境教育選修 A類・幼児教育選修 B類・国語専攻 B類・家庭専攻 B類・英語専攻 C類 E類・教育支援専攻・生涯学習コース E類・教育支援専攻・カウンセリングコース E類・教育支援専攻・ソーシャルワークコース E類・教育支援専攻・多文化共生教育コース E類・教育支援専攻・表現教育コース	国語	国語（必須）	
	地理歴史 公民 理科	世界史B、日本史B、地理B 現代社会、『倫理、政治・経済』 } から1又は2 「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 から1 ただし、基礎を付した科目の場合は、2科目を利用する。」 又は 「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、物理、化学、生物、地学 から2 ただし、基礎を付した科目を利用する場合は、基礎を付した科目2科目と基礎を付さない科目1科目を利用する。 （基礎を付した科目と基礎を付さない科目の同一名称科目の利用を可とする。）」 } から3 注3	
	数学	数学Ⅰ・数学A（必須） 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計、情報関係基礎 } から1	
	外国語	英語（リスニングを含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語 から1	
	[5教科7科目又は6教科7科目]		

注3：地理歴史、公民並びに理科の基礎を付さない科目において、2科目受験した場合は、それぞれ「第1解答科目」の成績を用いる。加えて、地理歴史、公民並びに理科の基礎を付さない科目において、いずれも2科目受験した場合、「第2解答科目」については、そのうちの高得点の成績を用いる。
また、地理歴史・公民で2科目を受験し、理科で基礎を付す科目と基礎を付さない科目を受験した場合、地理歴史・公民の「第1解答科目」の成績は必ず用い、残り2つの成績は地理歴史・公民の「第2解答科目」、理科の基礎を付す科目及び理科の基礎を付さない科目のうち高得点の2つの成績を用いる。

類, 選修・専攻・コース	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等		確認
	教科	科目等	
A類・音楽選修 A類・美術選修 A類・保健体育選修 B類・保健体育専攻 B類・書道専攻 E類・教育支援専攻・生涯スポーツコース	国語	国語（必須）	
	地理歴史 公民	世界史B, 日本史B, 地理B 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 } から1	注4
	理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。	注5
	数学	数学I・数学A（必須）	
	外国語	英語（リスニングを含む）, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1	
[5教科5科目]			

注4：地理歴史, 公民において2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を用いる。

注5：理科において「基礎を付す科目2科目」と「基礎を付さない科目1科目」を受験した場合は, 高得点の成績を用いる。また, 理科において「基礎を付さない科目2科目」を受験した場合は, 「第1解答科目」の成績を用いる。

類, 選修・専攻・コース	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等		確認
	教科	科目等	
B類・音楽専攻 B類・美術専攻	国語	国語（必須）	
	地理歴史 公民 理科	世界史B, 日本史B, 地理B から1 現代社会, 『倫理, 政治・経済』 から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から1 ただし, 基礎を付した科目の場合は, 2科目を利用する。	から3 注6
	数学	『数学I・数学A』	
	外国語	英語（リスニングを含む）, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語 から1	
	[5教科5科目]		

注6：地理歴史, 公民並びに理科の基礎を付さない科目において, 2科目受験した場合は, それぞれ「第1解答科目」の成績を用いる。加えて, 理科において「基礎を付す科目2科目」及び「基礎を付さない科目1科目」を受験した場合は, 高得点の成績を用いる。

なお, 利用する3科目（理科の基礎を付す科目は2科目で1科目とする。以下同様。）は, 地理歴史, 公民, 理科及び数学のうち高得点の成績とする。

ただし, 地理歴史, 公民において「第1解答科目」と「第2解答科目」を別々の教科で受験した場合で, 「第2解答科目」が全体で高得点の3科目に入る場合は, 「第2解答科目」の成績を用いる。

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題教科	出題科目(出題範囲)	受験科目数	摘要					
養成課程(A類)	ものづくり技術選修	2月25日(木)	面	接	◎ 1	口頭試問を含む。作品や、それを提示するための資料等の持込不可。					
	幼児教育選修	2月25日(木) 2月26日(金)	実技(音楽素質検査)	接	◎ 1	実技(音楽素質検査)の内容は、32頁参照					
中等教育教員養成課程(B類)	国語専攻	2月25日(木)	国語	国現語総合 現現代文A 古古典典文A 古古典典文B	◎ ◎ ◎ ◎ ◎		5				
			小論	文	◎	1					
	社会専攻	2月25日(木)	地理歴史	日世本界史 地地地地理	B B B	◎ ◎ ◎	1	地理歴史・公民の6科目から1科目選択 小論文は必須科目			
			公民	現倫代社 政治・経	会理済文				◎ ◎ ◎		
			小論	文	◎				1		
	数学専攻	2月25日(木)	数学	数数数数数 数数数数数	I II III A B	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	数学Aは、場合の数と確率、 整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル			
				小論	文				◎	1	
	理科専攻	2月25日(木)	理科	物化生地 物化生地	理化学 物理学 基礎基礎 基礎基礎 基礎基礎	礎礎礎礎 礎礎礎礎 礎礎礎礎 礎礎礎礎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	1	理科の上欄のグループ(4科目)から1科目と下欄のグループ(4科目)から1科目の計2科目選択 ただし、上欄のグループから選択する科目の分野と下欄のグループから選択する科目の分野は異なること 小論文は必須科目		
				物化生地	理化学 物理学 基礎基礎 基礎基礎	礎礎礎礎 礎礎礎礎 礎礎礎礎				◎ ◎ ◎ ◎	1
				小論	文	◎				1	
	音楽専攻	2月25日(木) 2月26日(金)	音面	通試 (楽典、聴音、新曲視唱)	験	◎	2	共通試験及び音楽実技の内容は、33頁参照			
	美術専攻	2月25日(木) 2月26日(金)	美術実技(選択問題)	接	◎	1	美術実技の内容は、31頁参照				
	保健体育専攻	2月25日(木)	体面	育実技	接	◎	1	体育実技の内容は、31頁参照			
家庭専攻	2月25日(木)	小論	文	◎	1						
技術専攻	2月25日(木)	面	接	◎	1	口頭試問を含む。作品や、それを提示するための資料等の持込不可。					
英語専攻	2月25日(木)	外国語(英語)	コミュニケーション英語I コミュニケーション英語II コミュニケーション英語III 英語表現I 英語表現II (ディクテーションを含む)	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5						
			面	接			◎	1			
書道専攻	2月25日(木)	国語	国現語総合 現現代文A 古古典典文A 古古典典文B	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5						
			書道実技・書道理論	◎			1				
			面	接			◎	1			

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

A類保健体育選修と同様の日程に変更(別紙①のとおり)

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題教科	出題科目(出題範囲)	受験科目数	摘要			
特別支援教育教員養成課程(C類)		2月25日(木)	小面	論	文	◎	1		
				文	接	◎	1		
養護教育教員養成課程(D類)	養護教育専攻	2月25日(木)	小面	論	文	◎	1		
				文	接	◎	1		
教育支援課程(E類)	教育支援専攻生涯学習コース	2月25日(木)	小	論	文	◎	1		
	教育支援専攻カウンセリングコース	2月25日(木)	面		接	◎	1		
	教育支援専攻ソーシャルワークコース	2月25日(木)	小	論	文	◎	1		
	教育支援専攻多文化共生教育コース	2月25日(木)	小	論	文	◎	1		
	教育支援専攻情報教育コース	2月25日(木)	数 学	数 学	学	I	◎	5	数学Aは、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル 口頭試問を含む
					学	II	◎		
	教育支援専攻表現教育コース	2月25日(木)	小	論	文	III	◎	1	
文					A	◎			
教育支援専攻生涯スポーツコース	2月25日(木)	体 育	実 技	接	B	◎	1	体育実技の内容は、31頁参照	
				接	B	◎			1

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

A類保健体育選修と同様の日程に変更(別紙①のとおり)

別紙①

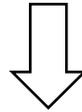
試験日程の変更

中等教育教員養成課程（B類） 保健体育専攻(p.27)

教育支援課程（E類） 教育支援専攻生涯スポーツコース(p.28)

変更前

2月25日(木)	体 育 実 技
	面 接



変更後

2月25日(木)	体 育 実 技
2月26日(金)	面 接

(2) 後期日程

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題科目(出題範囲)			受験科目数	摘要
初等教育教員養成課程(A類)	国語選修	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む
	社会選修	3月12日(金)	面	接	◎	1	
	数学選修	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む
	理科選修	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む
	音楽選修	3月12日(金) 3月13日(土)	音楽実技	◎	1	音楽実技の内容は、33頁参照	
			面	接	◎		1
	美術選修	3月12日(金)	面	接	◎	1	
	学校教育選修	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む
	学校心理選修	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む
	情報教育選修	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む
環境教育選修	3月12日(金)	面	接	◎	1		
中等教育教員養成課程(B類)	社会専攻	3月12日(金)	面	接	◎	1	
	数学専攻	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む
	理科専攻	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む
	音楽専攻	3月12日(金) 3月13日(土)	共通試験 (楽典, 聴音, 新曲視唱)	◎	2	共通試験及び音楽実技の内容は、33頁参照	
音楽実技			◎	1			
特別支援教育教員養成課程(C類)		3月12日(金)	小論文	◎	1		
			面	接	◎	1	
教育支援課程(E類)	教育支援専攻 生涯学習コース	3月12日(金)	面	接	◎	1	
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	3月12日(金)	面	接	◎	1	
	教育支援専攻 情報教育コース	3月12日(金)	面	接	◎	1	口頭試問を含む

(注) 出題科目の◎印は必須科目を示す。

8. 小論文の概要

【前期日程】

- (1) **A類国語選修・B類国語専攻**
国語教育や日本語教育に関する課題とともにアドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教育への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。
- (2) **A類社会選修・B類社会専攻**
アドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。
- (3) **A類数学選修・B類数学専攻**
数学に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (4) **A類理科選修・B類理科専攻**
アドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。
- (5) **A類家庭選修・B類家庭専攻**
生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (6) **A類学校教育選修**
学校内外の教育に関する諸問題についての課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (7) **A類環境教育選修**
アドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに、教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。
- (8) **C類特別支援教育教員養成課程**
教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (9) **D類養護教育専攻**
社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (10) **E類教育支援専攻生涯学習コース**
生涯学習に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教育支援職への意欲・適性及び主体性等を評価する。
- (11) **E類教育支援専攻ソーシャルワークコース**
社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力、思考力、表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教育支援職への意欲・適性及び主体性等を評価する。
- (12) **E類教育支援専攻多文化共生教育コース**
異文化理解と多文化共生に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める適性及び主体性等を評価する。
- (13) **E類教育支援専攻表現教育コース**
芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッションポリシーで求める教育支援職への意欲・適性及び主体性等を評価する。

【後期日程】

- (1) **C類特別支援教育教員養成課程**
アドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

9. 実技試験等の内容

(1) 図工・美術実技（選択問題）の内容（A類美術選修）

選択問題（次の2科目から1つを選択）

1. 小論文（2時間、図工・美術教育について出題し、論述させ、基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する。）
2. 鉛筆による静物デッサン（2時間）

(2) 美術実技（選択問題）の内容（B類美術専攻）

選択問題（次の2科目から1つを選択）

1. 小論文（2時間、美術史について出題し、論述させ、基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価する）
2. 石膏デッサン（4時間、木炭又は鉛筆、併用も可）

（注）選択問題は、出願の時に希望する受験科目1つを登録すること。
 なお、試験場での受験科目の変更は認めない。

(3) 体育実技の内容

- ①A類保健体育選修の志願者は、下表の「A類の試験種目一覧(ア)」から1種目、「A類の試験種目一覧(イ)」から1種目の合計2種目を選択すること。ただし、(ア)で選択する種目は、出願書類（11月公表）である「体育調査票」の「専門競技」の欄に記載した種目と一致させること。「専門競技」の欄に記載した種目が、(ア)にない場合は、その限りではない。

また、(ア)で個人種目を選択した場合は(イ)でチーム種目を、(ア)でチーム種目を選択した場合は(イ)で個人種目を選択すること。

A類の試験種目一覧(ア)：午前	
個人種目	陸上競技（下表「陸上競技種目一覧」から1種目）、器械運動（マット、とび箱、鉄棒）、水泳、剣道、柔道、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、ダンス
チーム種目	バレーボール、バスケットボール、サッカー、野球（男子は硬式野球、女子はソフトボール）、ラグビー、ハンドボール

A類の試験種目一覧(イ)：午後	
個人種目	陸上競技（50mハードル走）、器械運動（マット、鉄棒）、ダンス
チーム種目	バレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトボール

- ②B類保健体育専攻、E類教育支援専攻生涯スポーツコースの志願者は、下表の「B・E類の試験種目一覧」から1種目を選択すること。

B・E類の試験種目一覧	
陸上競技（下表「陸上競技種目一覧」から1種目）、器械運動（マット、とび箱、鉄棒）、水泳、剣道、柔道、硬式テニス、ソフトテニス、卓球、ダンス、バレーボール、バスケットボール、サッカー、野球（男子は硬式野球、女子はソフトボール）、ラグビー、ハンドボール	

陸上競技種目一覧	
100m走、400m走、800m走、1500m走、1500m競歩、走り幅跳び、走り高跳び、三段跳び、棒高跳び、砲丸投げ、円盤投げ、やり投げ、男子55mハードル走（110mハードル走に準じる）、女子50mハードル走（100mハードル走に準じる）	

(4) 幼児教育の実技（音楽素質検査）の内容

項目	内容
声楽	次の3曲のうちから志願者が選択する任意の1曲(暗譜でなくともよい。試験官の伴奏による) ① 赤とんぼ(変ホ長調) (三木露風 詞, 山田耕筰 曲) ② 花(ト長調) (武島羽衣 詞, 瀧廉太郎 曲) ③ 椰子の実(ト長調) (島崎藤村 詞, 大中寅二 曲)
ピアノ	平易な任意のピアノ独奏用楽曲1曲(暗譜でなくともよい。ペダルの使用は自由。ピアノ独奏用楽曲とは、例えば「ブルグミュラー 25の練習曲」や「ソナチネ アルバム」のようなピアノ独奏用に作られた楽曲のことを指す。)

(5) 書道実技・書道理論の内容

項目	内容
書道実技	漢字の書 創作 (ア) 書体 …… 楷書, 行書(平易な草書を含む) (イ) 題材 …… 2字から6字程度の語句 (ウ) 用紙 …… 半紙(33.5cm×24.5cm)
	仮名の書 臨書用紙 …… 半紙(33.5cm×24.5cm)
	漢字仮名交じりの書 創作 (ア) 題材 …… 短歌, 俳句など (イ) 用紙 …… 小画仙紙半折1/3(45cm×35cm)
書道理論	日本・中国書道史, 書道理論(例: 書道用語)等

(注) 実技試験に際しては、次のものを準備すること。

大筆(小画仙紙半折用も含む), 小筆, 硯, 墨(固形墨を磨墨して持参するか, 市販の液体墨でもよい), 文鎮, 下敷(小画仙紙半折用及び半紙用。ただし, 罫線・枠の入ったものは不可), 上履き, 下履きを入れるビニール袋。

(6) 音楽の共通試験及び音楽実技の内容

① A類（前期日程）・B類（前期・後期日程）の共通試験

- (ア) 楽典（高等学校卒業程度の音楽に関する問題も含む）
- (イ) 聴音（単旋律及び大譜表による4声体和声）
- (ウ) 新曲視唱

② A類（前期・後期日程）の音楽実技の課題

下表のⅠとⅡのどちらかを選択すること。

選択した番号内の試験科目は全て必須科目となる（例 Ⅰ選択者…声楽、ピアノが必須）。

Ⅰ・Ⅱのピアノは前期・後期日程で課題が異なるので注意すること。

※楽譜の出版社は特に指定が無い場合は不問とする。

※暗譜の指定の無いものは楽譜の使用を認める。ただし、譜めくりは各自の責任とする。

	試験科目	課 題
Ⅰ	声 楽 (前期・後期日程)	自由曲を1曲、原語かつ暗譜で歌う（調は自由。B類の声楽課題曲（37頁参照）から選んでもよい）。オペラ及びオラトリオのアリアについては、原調とする。ただし、通常歌われている調に関しては、その限りではない。自由曲の楽譜は、出願書類と一緒に2部提出すること。なお、楽譜は1頁A4の大きさとし、テープなどで製本しないこと。
	ピ ア ノ (前期日程)	J.S.Bach：6つのフランス組曲BWV812～817より任意の1曲を選び、アルマンダ、クーラン、サラバンドを暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
	ピ ア ノ (後期日程)	下記の作曲家の作品から任意の1曲を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 (組曲やソナタからの楽章等の抜粋は可。ただし変奏曲の抜粋は認めない。) J.S.Bach, J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn, F.Chopin, R.Schumann, F.Liszt, J.Brahms
Ⅱ	声 楽 (前期・後期日程)	自由曲を1曲、原語かつ暗譜で歌う（調は自由。B類の声楽課題曲（37頁参照）から選んでもよい）。オペラ及びオラトリオのアリアについては、原調とする。ただし、通常歌われている調に関しては、その限りではない。自由曲の楽譜は、出願書類と一緒に2部提出すること。なお、楽譜は1頁A4の大きさとし、テープなどで製本しないこと。
	ピ ア ノ (前期日程)	J.S.Bach：6つのフランス組曲BWV812～817より任意の1曲を選び、アルマンダ、クーランを暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
	ピ ア ノ (後期日程)	下記の作曲家の作品から任意の1曲を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 (組曲やソナタからの楽章等の抜粋は可。ただし変奏曲の抜粋は認めない。) J.S.Bach, J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn, F.Chopin, R.Schumann, F.Liszt, J.Brahms
	管弦打楽器 (前期日程)	次の楽器から1つを選択すること。 〔フルート、クラリネット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、 チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、マリンバ〕 ※以下、繰り返しは省略。 (ア) フルート E.Köhler：35 Exercises Op.33, Book I [15 Easy Exercises] より No.6, 13を演奏する。 (イ) クラリネット H.Klosé：Exercices Journaliers [クラリネットのための日課練習] (A.Leduc版) よりNo.1, 3, 4, 6の中から試験場で監督者から指定された2曲を演奏する。 (ウ) ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ C.Kopprasch：Sixty Selected Studies Book I よりNo.1～7の中から試験場で監督者から指定された2曲を演奏する。

(次頁へ続く)

	試験科目	課 題
II	管弦打楽器 (前期日程)	<p>(エ) ヴァイオリン R.Kreutzer : 42 EtüdenよりNr. 6, 8の中から試験場で監督者から指定された1曲を暗譜で演奏する。</p> <p>(オ) ヴィオラ R.Kreutzer : 42 EtüdenよりNr. 2, 5の中から試験場で監督者から指定された1曲を暗譜で演奏する(ヴィオラ用の版を使用のこと)。</p> <p>(カ) チェロ S.Lee : Vierzig leichte Etüden, Op. 70 (Becker編, Schott版) よりNr. 20, 24を演奏する。</p> <p>(キ) コントラバス F.Simandl : 30 EtudesよりNo. 6 イ長調を演奏する。 (注) 試験時に楽器の借用を希望する志願者は、試験当日に申し出ること。</p> <p>(ク) マリンバ ㊦Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred 版) 39ETUDESよりV, VIIIを演奏する。 ㊧小太鼓基礎奏法 : 1つ打ち, 2つ打ち(いずれも加速減速)の中から試験場で監督者から指定された奏法を演奏する。 (注) マリンバ及び小太鼓は本学が準備したものを使用する。</p>
	管弦打楽器 (後期日程)	<p>次の楽器から1つを選択すること。</p> <p>{ フルート, クラリネット, ホルン, トランペット, トロンボーン, ユーフォニアム, テューバ, ヴァイオリン, ヴィオラ, チェロ, コントラバス, マリンバ }</p> <p>自由曲を1曲演奏する(繰り返しは省略。伴奏なし。暗譜の必要はない)。</p>

③ B類（前期・後期日程）の音楽実技の課題

希望する専門分野に応じて、下表のⅠ～Ⅴから1つを選択すること。

（声楽＝Ⅰ，ピアノ＝Ⅱ，管弦打楽器＝Ⅲ，作曲＝Ⅳ，音楽学＝Ⅴ）

選択した番号内の試験科目は全て必須科目となる（例 Ⅰ 選択者…声楽，ピアノが必須）。

Ⅱ～Ⅴの声楽，Ⅱのピアノ，Ⅴの音楽学は前期・後期日程で課題が異なるので注意すること。

※楽譜の出版社は特に指定が無い場合は不問とする。

※暗譜の指定の無いものは楽譜の使用を認める。ただし，譜めくりは各自の責任とする。

	試験科目	課 題
Ⅰ	声 楽	（ア）声楽課題曲（37頁参照）9曲の中から3曲を選び，試験場で監督者から指定された1曲を，原語かつ暗譜で歌う。 （イ）声楽課題曲9曲以外の自由曲を1曲，原語かつ暗譜で歌う（調は自由）。オペラ及びオラトリオのアリアについては，原調とする。ただし，通常歌われている調に関しては，その限りではない。自由曲の楽譜は，出願書類と一緒に2部提出すること。なお，楽譜は1頁A4の大きさとし，テープなどで製本しないこと。
	ピ ア ノ	J.S.Bach：6つの小プレリュードBWV933～938，またはインヴェンションとシンフォニアBWV772～801より任意の1曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
Ⅱ	ピ ア ノ （前期日程）	L.v.Beethoven：ソナタ第1番～第18番より任意の1曲を選び，第1楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
	ピ ア ノ （後期日程）	下記の作曲家の作品から任意の1曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。 （組曲やソナタからの楽章等の抜粋は可。ただし変奏曲の抜粋は認めない。） J.S.Bach, J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven, F.Schubert, F.Mendelssohn, F.Chopin, R.Schumann, F.Liszt, J.Brahms
	声 楽 （前期日程）	声楽課題曲（37頁参照）9曲の中から2曲を選び，試験場で監督者から指定された1曲を，原語かつ暗譜で歌う。
	声 楽 （後期日程）	声楽課題曲（37頁参照）9曲の中から3曲を選び，試験場で監督者から指定された1曲を，原語かつ暗譜で歌う。
Ⅲ	管弦打楽器 （前期日程）	次の楽器から1つを選択すること。 〔フルート，クラリネット，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム， テューバ，ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，マリンバ〕 ※以下，繰り返しは省略。伴奏なし。 （ア）フルート J.Andersen：24 Exercises Op.21よりNo.6, 13を演奏する。 （イ）クラリネット C.Rose（編）：クラリネットのための32の練習曲よりNo.1, 5, 9, 10の中から試験場で監督者から指定された2曲を演奏する。 （ウ）ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ C.Kopprasch：Sixty Selected Studies Book IよりNo.7～16の中から試験場で監督者から指定された2曲を演奏する。 （エ）ヴァイオリン R.Kreutzer：42 EtüdenよりNr.7, 12の中から試験場で監督者から指定された1曲を暗譜で演奏する。 （オ）ヴィオラ R.Kreutzer：42 EtüdenよりNr.4, 7の中から試験場で監督者から指定された1曲を暗譜で演奏する（ヴィオラ用の版を使用のこと）。 （カ）チェロ ドッツァワー：チェロ教本（小沢弘編著，音楽之友社）よりNo.17を演奏する。

（次頁へ続く）

試験科目	課 題
管弦打楽器 (前期日程)	<p>(キ) コントラバス F.Simandl : 30 EtudesよりNo.2へ長調を暗譜で演奏する。 (注) 試験時に楽器の借用を希望する志願者は、試験当日に申し出ること。</p> <p>(ク) マリンバ ⑦Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred 版) 39ETUDESよりV, XVIIIを演奏する。 ④小太鼓基礎奏法 : 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち (いずれも加速減速) の中から試験場で監督者から指定された奏法を演奏する。 (注) マリンバ及び小太鼓は本学が準備したものを使用する。</p>
III 管弦打楽器 (後期日程)	<p>次の楽器から1つを選択すること。 〔フルート, クラリネット, ホルン, トランペット, トロンボーン, ユーフォニアム, テューバ, ヴァイオリン, ヴィオラ, チェロ, コントラバス, マリンバ〕</p> <p>※以下, 繰り返しは省略。伴奏なし。</p> <p>(ア) フルート W.A.Mozart : 協奏曲 ト長調 KV313 第1, 2楽章 (カデンツァ省略) を演奏する。</p> <p>(イ) クラリネット C.M.v.Weber : 小協奏曲を演奏する。</p> <p>(ウ) ホルン W.A.Mozart : 協奏曲第3番 変ホ長調 KV447 第1楽章 (カデンツァ省略) を演奏する。</p> <p>(エ) トランペット J.Ed.Barat : 幻想曲 変ホ短調 (Leduc版) を演奏する。</p> <p>(オ) トロンボーン E.Sachse : 小協奏曲 (International Music版) を演奏する。</p> <p>(カ) ユーフォニアム A.Capuzzi : アンダンテとロンド (Hinrichen版) を演奏する。</p> <p>(キ) テューバ C.Kopprasch : Sixty Selected Studies Book IよりNo.7~16の中から試験場で監督者から指定された2曲を演奏する。</p> <p>(ク) ヴァイオリン ⑦R.Kreutzer : 42 EtüdenよりNr.7, 12の中から1曲を選び暗譜で演奏する。 ④W.A.Mozart : 以下のヴァイオリン協奏曲から1曲を選び, 第1楽章を暗譜で演奏する。カデンツァは () 内のものを使用。 協奏曲第3番 ト長調 KV216 (サム・フランコ) 協奏曲第4番 ニ長調 KV218 (ヨアヒム) 協奏曲第5番 イ長調 KV219 (ヨアヒム)</p> <p>(ケ) ヴィオラ ⑦R.Kreutzer : 42 EtüdenよりNr.4, 7の中から試験場で監督者から指定された1曲を暗譜で演奏する (ヴィオラ用の版を使用のこと)。 ④以下の作品から1曲を選び暗譜で演奏する。 C.Stamitz : 協奏曲 ニ長調 Op.1 第1楽章 (カデンツァ省略) J.Chr.Bach : 協奏曲 ハ短調 第1楽章</p> <p>(コ) チェロ A.Vivaldi : ソナタ第1番 変ロ長調 (Schott版) 第1, 2楽章を暗譜で演奏する。</p> <p>(サ) コントラバス A.Capuzzi : 協奏曲 ニ長調 (Yorke Edition版) 第1楽章を暗譜で演奏する。 (注) 試験時に楽器の借用を希望する志願者は、試験当日に申し出ること。</p> <p>(シ) マリンバ ⑦Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred 版) 39 ETUDES よりVII, XVIIIを演奏する。 ④小太鼓基礎奏法 : 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち (いずれも加速減速) の中から試験場で監督者から指定された奏法を演奏する。 (注) マリンバ及び小太鼓は本学が準備したものを使用する。</p> <p>ピアノ J.S.Bach : 6つの小プレリュードBWV933~938, またはインヴェンションとシンフォニアBWV772~801より任意の1曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。</p>

(次頁へ続く)

	試験科目	課 題
Ⅲ	声 楽 (前期日程)	声楽課題曲(37頁参照) 9 曲の中から 2 曲を選び、試験場で監督者から指定された 1 曲を、原語かつ暗譜で歌う。
	声 楽 (後期日程)	声楽課題曲(37頁参照) 9 曲の中から <u>3 曲</u> を選び、試験場で監督者から指定された 1 曲を、原語かつ暗譜で歌う。
Ⅳ	作 曲	(ア) 与えられた低音旋律及び高音旋律に 4 声体和声を作る(転調、転位音を含む)。〈試験時間は90分〉 (イ) 自作品(自筆またはコンピュータによる浄書、コピー可)を出願書類と一緒に提出すること。形式、演奏形態及び曲数は自由(提出作品についての面接試問を含む)。 (注) 提出楽譜は返還しない。
	ピ ア ノ	J.S.Bach: 6つの小プレリュードBWV933~938, またはインヴェンションとシンフォニアBWV772~801より任意の 1 曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
	声 楽 (前期日程)	声楽課題曲(37頁参照) 9 曲の中から 2 曲を選び、試験場で監督者から指定された 1 曲を、原語かつ暗譜で歌う。
	声 楽 (後期日程)	声楽課題曲(37頁参照) 9 曲の中から <u>3 曲</u> を選び、試験場で監督者から指定された 1 曲を、原語かつ暗譜で歌う。
Ⅴ	音 楽 学 (前期日程)	(ア) 小論文(80分) (イ) 面接(口頭試問を含む)
	音 楽 学 (後期日程)	(ア) 小論文(120分) (イ) 面接
	ピ ア ノ	J.S.Bach: 6つの小プレリュードBWV933~938, またはインヴェンションとシンフォニアBWV772~801より任意の 1 曲を選び暗譜で演奏する。繰り返しは省略。
	声 楽 (前期日程)	声楽課題曲(37頁参照) 9 曲の中から 2 曲を選び、試験場で監督者から指定された 1 曲を、原語かつ暗譜で歌う。
	声 楽 (後期日程)	声楽課題曲(37頁参照) 9 曲の中から <u>3 曲</u> を選び、試験場で監督者から指定された 1 曲を、原語かつ暗譜で歌う。

④ B類の声楽課題曲

① G. B. Pergolesi	: Nina	(ト短調, ホ短調, ニ短調)
② F. Gasparini	: Caro laccio	(ヘ長調, 変ホ長調, 変ニ長調)
③ G. Paisiello	: Nel cor più non mi sento	(ト長調, ヘ長調, 変ホ長調)
④ L. v. Beethoven	: Ich liebe dich	(ト長調, ヘ長調, 変ホ長調)
⑤ J. Brahms	: Sonntag	(ト長調, ヘ長調, 変ホ長調)
⑥ F. Schubert	: Heidenröslein	(ト長調, ホ長調, ニ長調)
⑦ 大中 寅二	: 椰子の実	(イ長調, ト長調)
⑧ 信時 潔	: 行々子	(嬰ヘ長調, ヘ長調, ニ長調)
⑨ 山田 耕筰	: かやの木山の	(ニ長調, ハ長調, 変ロ長調)

(注) ①~③は、イタリア歌曲集1(全音楽譜出版社)、イタリア古典声楽曲集1(教育芸術社)、古典イタリア歌曲集(カワイ出版)を使用すること。
(注) ⑦は、2番までを演奏すること。

10. 配点一覧表

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	大学入学共通テスト								東京学芸大学入学試験	
			国語	地理歴史(注1)	公民(注1)	数学①(注1)	数学②(注1)	理科①(注1)	理科②(注1)	外国語(注2)	計	配点
初等教育教員養成課程(A類)	国語選修	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	450	国語400 小論文50	
		後期	400	*100又は200	100	100	*100又は200	200	1,100	450		
	社会選修	前期	200	200	100	100	100	200	900	330	地歴・公民から1科目選択300 小論文30	
		後期	200	200	100	100	100	200	900	300		
	数学選修	前期	200	100	100	100	200	200	900	500	数学450 小論文50	
		後期	200	100	300	300	200	200	1,300	350		
	理科選修	前期	200	100	100	100	200	200	900	440	理科 2科目選択各200 小論文40	
		後期	200	100	100	100	200	200	900	400		
	音楽選修	前期	200	100	100	—	100	200	700	385	音楽実技200 共通試験150 面接35	
		後期	200	100	100	—	100	200	700	265	音楽実技240 面接25	
	美術選修	前期	200	100	100	—	100	200	700	385	図工・美術実技350 面接35	
		後期	200	100	100	—	100	200	700	300		
	保健体育選修	前期	200	100	100	—	100	200	700	350	体育実技200 面接150	
	家庭選修	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	300		
	英語選修	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	500	英語450 面接50	
	学校教育選修	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	300		
		後期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	300		
	学校心理選修	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	300		
		後期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	300		
	国際教育選修	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	450		
	情報教育選修	前期	200	100	100	100	200	200	900	450	数学400 面接50	
		後期	200	100	200	200	200	200	1,100	300		
	環境教育選修	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	330	地歴・公民から1科目(300)又は理科から2科目(各150)選択 小論文30	
		後期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	400		
ものづくり技術選修	前期	200	100	150	150	200	200	1,000	400			
幼児教育選修	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	350	実技50 面接300		
中等教育教員養成課程(B類)	国語専攻	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	1,300	国語1,200 小論文100	
	社会専攻	前期	200	200	100	100	100	200	900	330	地歴・公民から1科目選択300 小論文30	
		後期	200	200	100	100	100	200	900	300		
	数学専攻	前期	200	100	200	200	200	200	1,100	1,100	数学1,000 小論文100	
		後期	200	100	300	300	200	200	1,300	350		
	理科専攻	前期	200	100	100	100	200	200	900	1,100	理科 2科目選択各500 小論文100	
		後期	200	100	100	100	200	200	900	400		
	音楽専攻	前期	300	*100	*100	*100	—	*100	300	990	音楽実技600 共通試験300 面接90	
		後期	300	*100	*100	*100	—	*100	300	1,485	音楽実技1,050 共通試験300 面接135	
	美術専攻	前期	200	*100	*100	*100	—	*100	200	700	美術実技500 面接200	
	保健体育専攻	前期	200	100	100	—	100	200	700	450	体育実技300 面接150	
	家庭専攻	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	200	900	300		
	技術専攻	前期	200	100	150	150	200	200	1,000	400		
	英語専攻	前期	200	*100又は200	100	100	*100又は200	300	1,000	550	英語500 面接50	
書道専攻	前期	200	100	100	—	100	200	700	1,100	国語400 面接100 書道実技・書道理論600		

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	大学入学共通テスト							東京学芸大学入学試験			
			国語	地理歴史(注1)	公民(注1)	数学①(注1)	数学②(注1)	理科①(注1)	理科②(注1)	外国語(注2)	計	配点	摘要
特別支援教育教員養成課程(C類)		前期	200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	440	小論文400 面接40
		後期	200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	400	小論文200 面接200
員養護教育教員養成課程(D類)	養護教育専攻	前期	200	100		100	100	200		200	900	400	小論文300 面接100
教育支援課程(E類)	教育支援専攻生涯学習コース	前期	200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	500	
		後期	200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300	
	教育支援専攻カウンセリングコース	前期	200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300	
	教育支援専攻ソーシャルワークコース	前期	200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	500	
	教育支援専攻多文化共生教育コース	前期	200	*100又は200		100	100	*100又は200		400	1,100	500	
		後期	200	*100又は200		100	100	*100又は200		400	1,100	500	
	教育支援専攻情報教育コース	前期	200	100		100	100	200		200	900	550	数学500 面接50
		後期	200	100		200	200	200		200	1,100	300	
	教育支援専攻表現教育コース	前期	300	*100又は200		100	100	*100又は200		500	1,300	1,300	
教育支援専攻生涯スポーツコース	前期	200	100		100	-	100		200	700	500	体育実技300 面接200	

* 印は、選択教科・科目を示す。「*100又は200」については、1科目選択の場合は100、2科目選択の場合は200とする。

(注1) 地理歴史・公民⇒「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 『倫理, 政治・経済』(『倫理, 政治・経済』は1つの科目であるので注意すること)

数学①⇒『数学I・数学A』

数学②⇒『数学II・数学B』, 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』

理科①⇒「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」(理科①は2科目を利用する)

理科②⇒「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」

(注2) 外国語において、英語を選択した場合は、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を本表に示した外国語の配点に換算する。

ただし、リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮により受験が免除された場合は、リーディングの得点を本表に示した外国語の配点に換算する。

Ⅲ. 学校推薦型選抜

各選修・専攻・コースが求める推薦要件を満たし、合格した場合には本学への入学を確約できる志願者を、出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストを免除し、小論文・実技・面接及び推薦書・調査書等により選抜を行う。

特に、教員養成課程（A・B・C・D類）では、将来教員となる強い意欲を有することを推薦要件とする。

1. 出願資格

次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ、(4)の推薦要件を満たす者で、学校長が優れていると認め、責任をもって推薦できる者。推薦できる者の数は、選修・専攻・コースごとに1校当たり各1名とする。

- (1) 高等学校、もしくは中等教育学校を平成27年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部の課程を平成27年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者

ただし、中等教育教員養成課程（B類）技術専攻を志願する者については、上記に加え、高等専門学校の第3年次を平成27年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者で、かつ、(4)推薦要件を満たす者のうち、学校長が優れていると認め、責任を持って推薦できる者も、出願資格を有する。

- (4) 推薦要件（志願する選修・専攻・コースの推薦要件をすべて満たすこと）

課程(類)	選修・専攻・コース	推 薦 要 件
初等教育教員養成課程（A類）	国 語 選 修	1. 人物、学力ともに優れ、国語に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者
	美 術 選 修	1. 人物に優れ、美術に深い関心と能力を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者 3. 美術又は工芸等の科目を履修し、その成績が特に優れている者
	保 健 体 育 選 修	1. 人物に優れ、保健体育に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 3. 校内、校外の体育活動に積極的に参加した者 4. 「A・B・E類の試験種目一覧」（46頁参照）に示した種目において、公式戦に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者 5. 当該種目を継続しようとする意志が強固である者
	家 庭 選 修	1. 人物、学力ともに優れ、家庭科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 3. 生徒会、クラブ活動、ボランティア活動等において特に積極的な参加をした者
	英 語 選 修	1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者
	国 際 教 育 選 修	1. 人物、学力ともに優れ、本選修に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 3. 学校の内外を問わず、国際交流活動に参加した経験・参加の計画等を有する者
	ものづくり技術選	1. 人物、学力ともに優れ、ものづくりへの関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者
	幼 児 教 育 選 修	1. 人物、学力ともに優れ、将来幼稚園教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者

課程(類)	選修・専攻 ・コース	推 薦 要 件
中等教育教員養成課程 (B類)	国 語 専 攻	1. 人物、学力ともに優れ、国語に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.0以上の者
	美 術 専 攻	1. 人物に優れ、美術に深い関心と能力を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の芸術の評定平均値が 4.3以上で、他のいずれか1教科の評定平均値が4.0以上の者 3. 美術又は工芸等の科目を履修し、その成績が特に優れている者
	保 健 体 育 専 攻	1. 人物に優れ、保健体育に深い関心を持ち、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.0以上の者 3. 校内、校外の体育活動に積極的に参加した者 4. 「A・B・E類の試験種目一覧」(46頁参照)に示した種目において、公式戦に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者 5. 当該種目を継続しようとする意志が強固である者
	家 庭 専 攻	1. 人物、学力ともに優れ、家庭科に関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.0以上の者 3. 生徒会、クラブ活動、ボランティア活動等において特に積極的な参加をした者
	技 術 専 攻	1. 人物に優れ、学習意欲旺盛で、将来中学校(技術科)又は高等学校(工業科)の教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 3.8以上の者
	英 語 専 攻	1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.3以上の者
	書 道 専 攻	1. 人物、学力ともに優れ、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.0以上の者
特別支援教育教員養成課程 (C類)		1. 人物、学力ともに優れ、特別支援教育への関心が高く、将来教員となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.0以上の者
養護教育教員養成課程(D類)	養護教育専攻	1. 人物、学力ともに優れ、子供の健康への関心が高く、将来養護教諭となる強い意欲を有する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 3.8以上の者
教育支援課程 (E類)	教育支援専攻 カウンセリングコース	1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.0以上の者
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	1. 人物、学力ともに優れ、社会福祉の理論と実践に強い関心のある者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.0以上の者
	教育支援専攻 表現教育コース	1. 人物、学力ともに優れ、本コースに関心のある者 2. 調査書の全体の評定平均値が 4.0以上の者
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	1. 人物に優れ、将来下記3.に該当する種目の指導者を希望する者 2. 調査書の全体の評定平均値が 3.0以上の者 3. 「A・B・E類の試験種目一覧」(46頁参照)に示した種目において、全国大会(全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、国民体育大会等)レベル以上の競技会に選手として出場した者あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者 4. 当該種目を継続しようとする意志が強固である者

2. 出願期間

令和2年11月2日（月）から令和2年11月5日（木）まで

ただし、出願期間後に到着した場合でも、11月3日以前の発信局消印のある「書留速達」に限り受理する。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定する。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。

4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等

(1) 日程

令和2年11月28日（土）

(2) 出題教科・科目等

課程(類)	選修・専攻・コース	出題教科・科目等	受 験 科 目 数	摘 要
初等教育教員養成課程（A類）	国 語 選 修	小 論 文	◎ 1	口頭試問を含む
		面 接	◎ 1	
	美 術 選 修	小 論 文	◎ 1	図工・美術実技の内容は、46頁参照
		図工・美術実技 面 接	◎ 1	
	保 健 体 育 選 修	体 育 実 技	◎ 1	体育実技の内容は、46頁参照
		小 論 文	◎ 1	
	家 庭 選 修	小 論 文	◎ 1	
		面 接	◎ 1	
	英 語 選 修	小 論 文 (英語によるものを含む)	◎ 1	
		面 接 (英語によるものを含む)	◎ 1	
国 際 教 育 選 修	小 論 文	◎ 1		
	面 接	◎ 1		
ものづくり技術選修	小 論 文	◎ 1	作品や、それを提示するための資料等の持込不可。面接は口頭試問を含む。	
	面 接	◎ 1		
幼 児 教 育 選 修	小 論 文	◎ 1	実技（音楽素質検査）の内容は、46頁参照	
	実技（音楽素質検査） 面 接	◎ 1		
中等教育教員養成課程（B類）	国 語 専 攻	小 論 文	◎ 1	口頭試問を含む
		面 接	◎ 1	
	美 術 専 攻	小 論 文	◎ 1	美術実技の内容は、46頁参照
		美 術 実 技 面 接	◎ 1	
	保 健 体 育 専 攻	体 育 実 技	◎ 1	体育実技の内容は、46頁参照
		小 論 文	◎ 1	
	家 庭 専 攻	小 論 文	◎ 1	
		面 接	◎ 1	
	技 術 専 攻	小 論 文	◎ 1	作品や、それを提示するための資料等の持込不可。面接は口頭試問を含む。
		面 接	◎ 1	

(注) 出題教科・科目等の◎印は必須科目を示す。

課程(類)	選修・専攻・コース	出題教科・科目等	受 験 科目数	摘 要	
中等教育教員養成課程 (B類)	英 語 専 攻	小 論 文 (英語によるものを含む)	◎	1	
		面 接 (英語によるものを含む)	◎	1	
	書 道 専 攻	小 論 文	◎	1	
		書道実技・書道理論	◎	1	
	面 接	◎	1	書道実技・書道理論の内容は、46 頁参照	
特別支援教育教員養成課程 (C類)		小 論 文	◎	1	
		面 接	◎	1	
養護教育教員 養成課程(D類)	養 護 教 育 専 攻	小 論 文	◎	1	
		面 接	◎	1	
教育支援課程 (E類)	教育支援専攻 カウンセリングコース	小 論 文	◎	1	
		面 接	◎	1	
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	小 論 文	◎	1	
		面 接	◎	1	
	教育支援専攻 表現教育コース	小 論 文	◎	1	
		面 接	◎	1	
教育支援専攻 生涯スポーツコース	体 育 実 技	◎	1	体育実技の内容は、46頁参照	
	小 論 文	◎	1		
	面 接	◎	1		

(注) 出題教科・科目等の◎印は必須科目を示す。

5. 小論文の概要

(1) A類国語選修, B類国語専攻

国語教育や日本語教育に関する課題とともにアドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、教育への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(2) A類美術選修, B類美術専攻

図画工作・美術科に関わる課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(3) A類保健体育選修, B類保健体育専攻

保健体育や生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(4) A類家庭選修, B類家庭専攻

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(5) A類英語選修, B類英語専攻

言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して、論述させる（英語によるものを含む）。理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(6) A類国際教育選修

国際教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(7) A類ものづくり技術選修, B類技術専攻

サイエンス・テクノロジーおよびそれに関する学校教育についての課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(8) A類幼児教育選修

幼児教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(9) B類書道専攻

書写・書道教育に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(10) C類特別支援教育教員養成課程

教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(11) **D類養護教育専攻**

社会における健康課題に関する課題を提示して，論述させ，関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(12) **E類教育支援専攻カウンセリングコース**

学校内外の諸問題について論述させ，論理的構成力・表現力などを総合的に評価する。

(13) **E類教育支援専攻ソーシャルワークコース**

社会福祉に関する課題等を提示して，論述させ，知識，思考力，表現力等を総合的に評価するとともに，アドミッションポリシーで求める教育支援職への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(14) **E類教育支援専攻表現教育コース**

芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解・洞察力などを問うことにより，志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに，アドミッションポリシーで求める教育支援職への意欲・適性及び主体性等を評価する。

(15) **E類教育支援専攻生涯スポーツコース**

保健体育や生涯スポーツに関する課題を提示して，論述させ，洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価するとともに，アドミッションポリシーで求める教育支援人材への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

6. 実技試験等の内容

(1) 図工・美術実技の内容（A類美術選修）

鉛筆による静物デッサン（2時間）

(2) 美術実技の内容（B類美術専攻）

石膏デッサン（2時間）
（鉛筆又は木炭，併用も可）

(3) 体育実技の内容

A類保健体育選修，B類保健体育専攻，E類教育支援専攻生涯スポーツコースの志願者は，下表の「A・B・E類の試験種目一覧」から1種目を選択すること。

A・B・E類の試験種目一覧
陸上競技（下表「陸上競技種目一覧」から1種目），競泳*1，バレーボール（男子），サッカー（男子），ソフトボール（女子），剣道，柔道，ラグビー，体操競技（男子：6種目，女子：4種目）

*1 競泳の推薦要件として認められる種目は個人メドレー，自由形，平泳ぎ，背泳ぎ，バタフライのいずれか（距離は問わない）。なお，水球やOWS等は認めない。

陸上競技種目一覧
100m走，400m走，800m走，1500m走，1500m競歩，走り幅跳び，走り高跳び，三段跳び，棒高跳び，砲丸投げ，円盤投げ，やり投げ，男子55mハードル走（110mハードル走に準じる），女子50mハードル走（100mハードル走に準じる）

(4) 幼児教育の実技（音楽素質検査）の内容

項目	内容
声楽	次の3曲のうちから志願者が選択する任意の1曲（暗譜でなくともよい。試験官の伴奏による。） ① 赤とんぼ（変ホ長調）（三木露風 詞，山田耕作 曲） ② 花（ト長調）（武島羽衣 詞，瀧廉太郎 曲） ③ 椰子の実（ト長調）（島崎藤村 詞，大中寅二 曲）
ピアノ	平易な任意のピアノ独奏用楽曲1曲（暗譜でなくともよい。ペダルの使用は自由。ピアノ独奏用楽曲とは，例えば「ブルグミュラー 25の練習曲」や「ソナチネ アルバム」のようなピアノ独奏用に作られた楽曲のことを指す。）

(5) 書道実技・書道理論の内容

項目	内容
書道実技	漢字の書 臨書 用紙 …… 半紙（33.5cm×24.5cm）
	仮名の書 臨書 用紙 …… 半紙（33.5cm×24.5cm）
	漢字仮名交じりの書 創作 （ア）題材 …… 短歌，俳句など （イ）用紙 …… 小画仙紙全紙1/3（45cm×70cm）
書道理論	日本・中国書道史，書道理論（例：書道用語）等

（注）実技試験に際しては，次のものを準備すること。

大筆（小画仙紙半折用等），小筆，硯，墨（固形墨を磨墨して持参するか，市販の液体墨でもよい），文鎮，下敷（小画仙紙全紙1/3に対応する大きさのもの及び半紙用。ただし，罫線・枠の入ったものは不可）

7. 配点一覧表

課 程 (類)	選 修・専 攻・コース	面 接	小 論 文	実技試験
初等教育教員養成課程(A類)	国 語 選 修	180	120	—
	美 術 選 修	100	100	100
	保 健 体 育 選 修	100	100	100
	家 庭 選 修	100	200	—
	英 語 選 修	100	200	—
	国 際 教 育 選 修	200	100	—
	も の づ く り 技 術 選 修	150	150	—
中等教育教員養成課程(B類)	幼 児 教 育 選 修	150	100	50
	国 語 専 攻	180	120	—
	美 術 専 攻	100	100	100
	保 健 体 育 専 攻	75	75	150
	家 庭 専 攻	100	200	—
	技 術 専 攻	150	150	—
	英 語 専 攻	100	200	—
書 道 専 攻	100	100	100	
特別支援教育教員養成課程(C類)		150	150	—
養護教育教員養成課程(D類)	養 護 教 育 専 攻	150	150	—
教育支援課程(E類)	教 育 支 援 専 攻 カ ウ ン セ リ ン グ コ ー ス	200	100	—
	教 育 支 援 専 攻 ソ ー シ ャ ル ワ ー ク コ ー ス	100	200	—
	教 育 支 援 専 攻 表 現 教 育 コ ー ス	200	100	—
	教 育 支 援 専 攻 生 涯 ス ポ ー ツ コ ー ス	100	100	100

IV. スーパーアスリート推薦選抜

推薦要件を満たし、合格した場合には本学への入学を確約できる志願者を、出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストを免除し、小論文・面接及び推薦書・調査書等により選抜を行う。

1. 募集する課程（類）、専攻・コースの募集人員

教育支援課程（E類）教育支援専攻生涯スポーツコース 10名

2. 出願資格

次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ、(4)及び(5)を満たす者で、学校長が優れていると認め、責任をもって推薦できる者。推薦できる者の数は、1校当たり1名とする。

- (1) 高等学校、もしくは中等教育学校を平成27年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部の課程を平成27年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者
- (4) 受験できる競技種目の内容
 - a. 個人種目：陸上競技、剣道、女子柔道
 - b. チーム種目：男子バレーボール
- (5) 推薦要件
 - 1) a. 個人種目（陸上競技、剣道、女子柔道）
平成30年4月以降において、日本代表選手、強化指定選手、または全国大会ベスト8以上の者
あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者
 - b. チーム種目（男子バレーボール）
平成30年4月以降において、日本代表選手、強化指定選手、または全国大会ベスト16以上の者
あるいはそれに準ずる実績や能力を有する者
 - 2) 調査書の全体の評定平均値が3.0以上の者
 - 3) 当該種目を継続しようとする意志が強固である者

3. 出願期間

令和2年11月2日（月）から令和2年11月5日（木）まで

ただし、出願期間後に到着した場合でも、11月3日以前の発信局消印のある「書留速達」に限り受理する。

4. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定する。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。

5. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等

(1) 日程

令和2年11月28日（土）

(2) 出題教科・科目等

出題教科・科目等		受験科目数
小論文	◎	1
面接	◎	1

（注）出題教科・科目等の◎印は必須科目を示す。

6. 小論文の概要

生涯スポーツに関する課題を提示して，論述させ，洞察力・論理的な思考力・基礎的な学力等を総合的に評価する。

7. 配点

面接	小論文
150	150

V. 帰国生選抜

1. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外在留という事情により外国の学校教育を受けた者（保護者との同伴期間は1年以上とし、その後の単身滞在期間は2年以内の者）のうち、次の(1)～(5)のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育における12年の課程のうち、外国において最終を合む2年以上をその国の教育制度に基づく高等学校に継続して在籍し、平成31年（2019年）4月1日から令和3年（2021年）3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 平成31年（2019年）4月1日から令和3年（2021年）3月31日までに日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校もしくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国においてその国の教育制度に基づく中学校から高等学校までの課程に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校もしくは中等教育学校後期課程在籍期間は2年以内の者
- (3) 外国において、平成31年（2019年）4月1日から令和3年（2021年）3月31日までに次の資格を取得した者
 - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - ④ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
- (4) 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程に、最終を合む2年以上継続して在籍し、平成31年（2019年）4月1日から令和3年（2021年）3月31日までに当該課程を修了又は修了見込みの者
- (5) 平成31年（2019年）4月1日から令和3年（2021年）3月31日までに日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校もしくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校もしくは中等教育学校後期課程在籍期間は2年以内の者

(注1) 上記(1)及び(2)については、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとみなされない。

(注2) 出願資格について疑問のある場合は、学歴等を記載のうえ、出願前に入試課へ郵便で照会すること。その際、返信用封筒（長形3号の封筒に必ず日本国内の連絡先の住所、氏名、郵便番号を記入し、84円分の切手を貼ること）を同封すること。

2. 出願期間

令和2年（2020年）12月22日（火）から令和2年（2020年）12月24日（木）まで

ただし、出願期間後に到着した場合でも、12月23日以前の発信局消印（日本国内に限る）のある「書留速達」に限り受理する。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定する。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。

4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等

(1) 日程

令和3年(2021年)2月25日(木)～令和3年(2021年)2月26日(金)

(2) 出題教科・科目等

① 面接

志願者全員に面接(日本語の個人面接)を課す。ただし、A・B類英語は、英語による面接を含む。

A類ものづくり技術選修・B類技術専攻は、口頭試問を含む。また、作品や、それを提示するための資料等の持込を不可とする。

面接日時は、志願者宛に別途通知する。

② 面接を除く出題教科・科目等

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題教科	出題科目(出題範囲)	受験科目数	摘要		
初等教育教員養成課程(A類)	国語選修	2月25日(木)	国語	国語現代文 国語現代文 国語現代文 国語現代文 国語現代文	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5		
				小論文	◎		1	
	社会選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1		
				数学選修	2月25日(木)	数学	数学 数学 数学 数学 数学 数学 数学 数学	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎
	理科選修	2月25日(木)	理科				物理 化学 生物 物理 化学 生物	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎
				基礎 基礎 基礎 基礎 基礎 基礎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	1		
				物理 化学 生物 物理 化学 生物	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎		1	小論文は必須科目
	音楽選修	2月25日(木) 2月26日(金)	共通 音楽 試験 実技	試験 実技	◎ ◎	2	共通試験及び音楽実技の内容は、56頁参照	
				小論文	◎			1
	美術選修	2月25日(木)	図工・美術実技(選択問題)	文	◎	1	図工・美術実技の内容は、56頁参照	
				小論文	◎	1		
	保健体育選修	2月25日(木) 2月26日(金)	体育実技	文	◎	1	体育実技の内容は、56頁参照	
				小論文	◎	1		
	家庭選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1		
	英語選修	2月25日(木)	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ (ディクテーションを含む)	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5		
				小論文	◎		1	
	学校教育選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1		
	学校心理選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1		
国際教育選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1			
情報教育選修	2月25日(木)	数学	数学 数学 数学 数学 数学 数学 数学 数学	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	数学Aは、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル		

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題教科	出題科目(出題範囲)		受験科目数	摘要	
養成課程(D類)	養護教育専攻	2月25日(木)	小	論	文	◎	1	
	教育支援専攻 生涯学習コース	2月25日(木)	小	論	文	◎	1	
教育支援課程(E類)	教育支援専攻 カウンセリングコース	2月25日(木)	小	論	文	◎	1	
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	2月25日(木)	小	論	文	◎	1	
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	2月25日(木)	小	論	文	◎	1	
	教育支援専攻 情報教育コース	2月25日(木)	小	論	文	◎	5	数学Aは、場合の数と確率、 整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル
			数 学	数 数 数 数	学 学 学 学	I II III A B		
	教育支援専攻 表現教育コース	2月25日(木)	小	論	文	◎	1	
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	2月25日(木)	体	育	実	技	◎	1
2月26日(金)		小	論	文	◎	1		

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

5. 小論文の概要

- (1) A類国語選修, B類国語専攻
国語に関する課題を提示し, 理解力・表現力等を評価する。
- (2) A類社会選修, B類社会専攻
社会現象に関する課題等を提示し, それについて論述させる。読解力・論理的思考力・構成力・表現力等, 基礎的な能力を総合的に評価する。
- (3) A類数学選修, B類数学専攻
数学に関する課題を提示して, 論述させ, 知識・技能, 思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに, アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (4) A類理科選修, B類理科専攻
アドミッションポリシーを踏まえた理科に関する課題を提示して, 論述させ, 理解力・論理性・表現力等を評価するとともに, 教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。
- (5) A類音楽選修, B類音楽専攻
日本語の理解力と表現力, 及び音楽と音楽教育に関して理論的に思考し, 文章を構成することができるかどうかを判断する。
- (6) A類美術選修, B類美術専攻
美術文化とのかかわりに関する課題を提示して論述させ, 思考力・洞察力・表現力等を評価する。
- (7) A類保健体育選修, B類保健体育専攻
保健体育に関する課題を提示して論述させ, 洞察力, 論理的な思考力, 日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。
- (8) A類家庭選修, B類家庭専攻
生活科学分野に関する課題を提示して, 論述させ, 基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに, アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (9) A類英語選修, B類英語専攻
言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して, 論述させ, 理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能, 思考力・表現力等を総合的に評価するとともに, アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (10) A類学校教育選修
学校内外の教育に関する諸問題について, その理解力・分析力・表現力等を総合的に評価する。
- (11) A類学校心理選修
学校内外の諸問題について論述させ, 教員への意欲・適性及び論理構成力・表現力等を総合的に評価する。
- (12) A類国際教育選修
国際教育に関する諸問題について, その理解力・論理構成力・発想力等をみる。
- (13) A類情報教育選修
論理的な思考力, 日本語力, 及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。
- (14) A類環境教育選修
アドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して, 論述させ, 課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに, 教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。
- (15) A類ものづくり技術選修, B類技術専攻
ものづくり・科学技術・教育に関する課題を提示して, 論述させ, 基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を評価する。
- (16) A類幼児教育選修
幼児の発達や教育に関する課題を提示して, 論述させ, 基礎的な知識・理解力・文章構成力・表現力等を評価する。
- (17) B類書道専攻
書写・書道教育に関する理論や実践等についての基礎的事項の理解力・思考力及び書字力を評価する。

- (18) C類特別支援教育教員養成課程
教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (19) D類養護教育専攻
社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (20) E類教育支援専攻生涯学習コース
生涯学習に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価する。
- (21) E類教育支援専攻カウンセリングコース
学校内外の諸問題について論述させ、論理構成力・表現力などを総合的に評価する。
- (22) E類教育支援専攻ソーシャルワークコース
社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。
- (23) E類教育支援専攻多文化共生教育コース
異文化理解に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。
- (24) E類教育支援専攻情報教育コース
論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。
- (25) E類教育支援専攻表現教育コース
芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解力・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッションポリシーで求める教育支援職への意欲・適性及び主体性等を評価する。
- (26) E類教育支援専攻生涯スポーツコース
生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

6. 実技試験等の内容

(1) A類美術選修対象

一般選抜の「図工・美術実技（選択問題）の内容」と同じ（31頁参照）

(2) B類美術専攻対象

一般選抜の「美術実技（選択問題）の内容」と同じ（31頁参照）

(3) A類保健体育選修・B類保健体育専攻・E類教育支援専攻生涯スポーツコース対象

一般選抜の「体育実技の内容」と同じ（31頁参照）

(4) A類幼児教育選修対象

一般選抜の「幼児教育の実技（音楽素質検査）の内容」と同じ（32頁参照）

(5) B類書道専攻対象

一般選抜の「書道実技・書道理論の内容」と同じ（32頁参照）

(6) A類音楽選修・B類音楽専攻対象

一般選抜（前期日程）の「音楽の共通試験及び音楽実技の内容」と同じ

① A類音楽選修（33・34頁参照）

② B類音楽専攻（33・35・36・37頁参照）

(注) B類音楽専攻では、声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽学の5つの専門分野から、希望する専門分野に対応した課題を選択して受験すること。

7. 配点一覧表

課程(類)	選修・専攻・コース	帰国生選抜			
		面接	小論文	学力試験	実技試験
初等教育教員養成課程 (A類)	国語選修	100	100	100	—
	社会選修	100	200	—	—
	数学選修	100	100	100	—
	理科選修	100	100	*200	—
	音楽選修	100	100	—	*300
	美術選修	100	100	—	100
	保健体育選修	100	100	—	100
	家庭選修	100	200	—	—
	英語選修	100	100	100	—
	学校教育選修	100	200	—	—
	学校心理選修	100	200	—	—
	国際教育選修	100	200	—	—
	情報教育選修	100	100	100	—
	環境教育選修	100	200	—	—
	ものづくり技術選修	100	200	—	—
幼児教育選修	150	100	—	50	
中等教育教員養成課程 (B類)	国語専攻	100	100	100	—
	社会専攻	100	200	—	—
	数学専攻	100	100	100	—
	理科専攻	100	100	*200	—
	音楽専攻	100	100	—	*300
	美術専攻	100	100	—	200
	保健体育専攻	100	100	—	100
	家庭専攻	100	200	—	—
	技術専攻	100	200	—	—
	英語専攻	100	100	100	—
書道専攻	100	100	100	100	
特別支援教育教員養成課程 (C類)		100	200	—	—
養護教育教員養成課程 (D類)	養護教育専攻	100	200	—	—
教育支援課程 (E類)	教育支援専攻 生涯学習コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 カウンセリングコース	100	200	—	—
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	100	200	—	—
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 情報教育コース	100	100	100	—
	教育支援専攻 表現教育コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	100	100	—	100

(注) *印は2科目の合計点を示す。

VI. 私費外国人留学生選抜

1. 出願資格

外国の国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者は除く）で、かつ、次の(1)及び(2)の要件を満たす者

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和元年（2019年）度及び令和2年（2020年）度の「日本留学試験（*1, *2, *3, *4）」を受験し、1回の受験で次の①及び②の基準を満たす者
 - ① 日本語の成績（「読解」, 「聴解・聴読解」）が200点以上の者
 - ② 理科及び数学の成績の合計又は総合科目及び数学の成績の合計が200点以上の者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年（2021年）3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 外国において、令和3年（2021年）3月31日までに次の資格を取得した者
 - (ア) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - (イ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - (ウ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - (エ) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
 - ③ 外国において、令和3年（2021年）3月31日までに文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了又は修了見込みの者

(*1) 日本留学試験で受験を要する科目等

- ① 日本語
- ② 理科又は総合科目のどちらか（理科は物理・化学・生物から2科目を受験すること。科目の指定はしない。）
- ③ 数学（数学はコース1, コース2のどちらかを受験すること。）

(*2) 日本留学試験の日本語以外の科目は、日本語で出題された科目及び英語で出題された科目のどちらを受験してもよい。

(*3) 日本留学試験の成績は、令和元年（2019年）度及び令和2年（2020年）度の6月及び11月に実施の試験の成績を利用する。

複数回受験した場合は、志願者本人が利用してほしい1つの受験回を選択する。

(*4) 日本留学試験についての問い合わせ先

日本留学試験受付センター（電話 0570-55-0585）

(注) 出願資格について疑問のある場合は、学歴等を記載のうえ、出願前に入試課へ郵便で照会すること。その際、返信用封筒（長形3号の封筒に必ず日本国内の連絡先の住所、氏名、郵便番号を記入し、84円分の切手を貼ること）を同封すること。

本学が求める英語力について

本学では、深い教養と基礎的技能を獲得することを目的とする教養科目を設けています。その中の語学領域で必修科目として開講している「英語コミュニケーション」（1年次I・II期開設）は、高等学校で英語を履修したことを前提として授業を行っています。

高等学校等で英語を履修していない場合、「英語コミュニケーション」を受講するまでに、少なくとも日本の中学校3年間の英語教科書にある内容を学習しておく必要があります。

なお、本学では、申請によりTOEFL等のスコアに基づき、「英語コミュニケーション」の単位を認定する制度を設けています。

2. 出願期間

令和2年（2020年）12月22日（火）から令和2年12月24日（木）まで

ただし、出願期間後に到着した場合でも、12月23日以前の発信局消印（日本国内に限る）のある「書留速達」に限り受理する。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、日本留学試験と東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定する。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。

4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等

(1) 日程

令和3年(2021年)2月25日(木)～令和3年(2021年)2月26日(金)

(2) 出題教科・科目等

① 面接

志願者全員に面接(日本語の個人面接)を課す。ただし、A・B類英語は、英語による面接を含む。

A類ものづくり技術選修・B類技術専攻は、口頭試問を含む。また、作品や、それを提示するための資料等の持込を不可とする。

面接日時は、志願者宛に別途通知する。

② 面接を除く出題教科・科目等

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題教科	出題科目(出題範囲)	受験科目数	摘要	
初等教育教員養成課程(A類)	国語選修	2月25日(木)	国語	国語現代文 国語現代文 国語現代文 国語現代文 国語現代文	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	
				小論文	◎		
	社会選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1	
				小論文	◎	1	
	数学選修	2月25日(木)	数学	数学 数学 数学 数学 数学 数学 数学 数学	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	数学Aは、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル
				理科	物理 化学 生物 物理 化学 生物 物理 化学 生物		
	理科選修	2月25日(木)	理科	物理 化学 生物 物理 化学 生物 物理 化学 生物	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	1	理科の上欄のグループ(4科目)から1科目と下欄のグループ(4科目)から1科目の計2科目選択 ただし、上欄のグループから選択する科目の分野と下欄のグループから選択する科目の分野は異なること
				小論文	◎	1	
	音楽選修	2月25日(木) 2月26日(金)	共通 (楽典、聴音、 音楽)	試験 実技	◎ ◎	2	共通試験及び音楽実技の内容は、64頁参照
				小論文	◎		
	美術選修	2月25日(木)	図工・美術実技(選択問題)	文	◎	1	図工・美術実技の内容は、64頁参照
				小論文	◎	1	
	保健体育選修	2月25日(木) 2月26日(金)	体育実技	文	◎	1	体育実技の内容は、64頁参照
				小論文	◎	1	
	家庭選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1	
	英語選修	2月25日(木)	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ (ディクテーションを含む)	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	
				小論文	◎		
	学校教育選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1	
	学校心理選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1	
国際教育選修	2月25日(木)	小論文	文	◎	1		
情報教育選修	2月25日(木)	数学	数学 数学 数学 数学 数学 数学 数学 数学	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	数学Aは、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル	
			小論文	◎			1

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題教科	出題科目(出題範囲)	受験科目数	摘要	
養成課程(D類) 養護教育教員	養護教育専攻	2月25日(木)	小	論 文	◎ 1		
教育支援課程(E類)	教育支援専攻 生涯学習コース	2月25日(木)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 カウンセリングコース	2月25日(木)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	2月25日(木)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	2月25日(木)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 情報教育コース	2月25日(木)	小	論 文	◎ 1	5	数学Aは、場合の数と確率、 整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル
			数 学	数 学 数 学 数 学 数 学	I II III A B		
	教育支援専攻 表現教育コース	2月25日(木)	小	論 文	◎ 1		
教育支援専攻 生涯スポーツコース	2月25日(木)	体 育 実 技	◎ 1	1	体育実技の内容は、64頁参照		
	2月26日(金)	小	論 文	◎ 1			

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

5. 小論文の概要

- (1) A類国語選修, B類国語専攻
国語に関する課題を提示し, 理解力・表現力等を評価する。
- (2) A類社会選修, B類社会専攻
社会現象に関する課題等を提示し, それについて論述させる。読解力・論理的思考力・構成力・表現力等, 基礎的な能力を総合的に評価する。
- (3) A類数学選修, B類数学専攻
数学に関する課題を提示して, 論述させ, 知識・技能, 思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに, アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (4) A類理科選修, B類理科専攻
アドミッションポリシーを踏まえた理科に関する課題を提示して, 論述させ, 理解力・論理性・表現力等を評価するとともに, 教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。
- (5) A類音楽選修, B類音楽専攻
音楽と音楽教育に関する課題を提示して論述させ, 理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価する。
- (6) A類美術選修, B類美術専攻
美術文化とのかかわりに関する課題を提示して論述させ, 思考力・洞察力・表現力等を評価する。
- (7) A類保健体育選修, B類保健体育専攻
保健体育に関する課題を提示して論述させ, 洞察力, 論理的な思考力, 日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。
- (8) A類家庭選修, B類家庭専攻
生活科学分野に関する課題を提示して, 論述させ, 基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに, アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (9) A類英語選修, B類英語専攻
言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して, 論述させ, 理解力・分析力・論理構成力・表現力等をみる。知識・技能, 思考力・表現力等を総合的に評価するとともに, アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (10) A類学校教育選修
学校内外の教育に関する諸問題について, その理解力・分析力・表現力等を総合的に評価する。
- (11) A類学校心理選修
学校内外の諸問題について論述させ, 教員への意欲・適性及び論理構成力・表現力等を総合的に評価する。
- (12) A類国際教育選修
国際教育に関する諸問題について, その理解力・論理構成力・発想力等をみる。
- (13) A類情報教育選修
論理的な思考力, 日本語力, 及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。
- (14) A類環境教育選修
アドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して, 論述させ, 課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに, 教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。
- (15) A類ものづくり技術選修, B類技術専攻
ものづくり・科学技術・教育に関する課題を提示して, 論述させ, 基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を評価する。
- (16) A類幼児教育選修
幼児の発達や教育に関する課題を提示して, 論述させ, 基礎的な知識・理解力・文章構成力・表現力等を評価する。

- (17) C類特別支援教育教員養成課程
教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (18) D類養護教育専攻
社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (19) E類教育支援専攻生涯学習コース
生涯学習に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価する。
- (20) E類教育支援専攻カウンセリングコース
学校内外の諸問題について論述させ、論理構成力・表現力などを総合的に評価する。
- (21) E類教育支援専攻ソーシャルワークコース
社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。
- (22) E類教育支援専攻多文化共生教育コース
異文化理解に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。
- (23) E類教育支援専攻情報教育コース
論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。
- (24) E類教育支援専攻表現教育コース
芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解力・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッションポリシーで求める教育支援職への意欲・適性及び主体性等を評価する。
- (25) E類教育支援専攻生涯スポーツコース
生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

6. 実技試験等の内容

(1) A類美術選修対象

一般選抜の「図工・美術実技（選択問題）の内容」と同じ（31頁参照）

(2) B類美術専攻対象

一般選抜の「美術実技（選択問題）の内容」と同じ（31頁参照）

(3) A類保健体育選修・B類保健体育専攻・E類教育支援専攻生涯スポーツコース対象

一般選抜の「体育実技の内容」と同じ（31頁参照）

(4) A類幼児教育選修対象

一般選抜の「幼児教育の実技（音楽素質検査）の内容」と同じ（32頁参照）

(5) B類書道専攻対象

一般選抜の「書道実技・書道理論の内容」と同じ（32頁参照）

(6) A類音楽選修・B類音楽専攻対象

一般選抜（前期日程）の「音楽の共通試験及び音楽実技の内容」と同じ

① A類音楽選修（33・34頁参照）

② B類音楽専攻（33・35・36・37頁参照）

(注) B類音楽専攻では、声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽学の5つの専門分野から、希望する専門分野に対応した課題を選択して受験すること。

7. 配点一覧表

課程(類)	選修・専攻・コース	私費外国人留学生選抜			
		面接	小論文	学力試験	実技試験
初等教育教員養成課程 (A類)	国語選修	100	100	100	—
	社会選修	100	200	—	—
	数学選修	100	100	100	—
	理科選修	100	100	*200	—
	音楽選修	100	100	—	*300
	美術選修	100	100	—	100
	保健体育選修	100	100	—	100
	家庭選修	100	200	—	—
	英語選修	100	100	100	—
	学校教育選修	100	200	—	—
	学校心理選修	100	200	—	—
	国際教育選修	100	200	—	—
	情報教育選修	100	100	100	—
	環境教育選修	100	200	—	—
	ものづくり技術選修	100	200	—	—
幼児教育選修	150	100	—	50	
中等教育教員養成課程 (B類)	国語専攻	100	100	100	—
	社会専攻	100	200	—	—
	数学専攻	100	100	100	—
	理科専攻	100	100	*200	—
	音楽専攻	100	100	—	*300
	美術専攻	100	100	—	200
	保健体育専攻	100	100	—	100
	家庭専攻	100	200	—	—
	技術専攻	100	200	—	—
	英語専攻	100	100	100	—
書道専攻	100	—	100	100	
特別支援教育教員養成課程 (C類)		100	200	—	—
養護教育教員養成課程 (D類)	養護教育専攻	100	200	—	—
教育支援課程 (E類)	教育支援専攻 生涯学習コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 カウンセリングコース	100	200	—	—
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	100	200	—	—
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 情報教育コース	100	100	100	—
	教育支援専攻 表現教育コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	100	100	—	100

(注) *印は2科目の合計点を示す。

私費外国人

Ⅶ. 国際バカロレア選抜

1. 出願資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす者

- (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (International Baccalaureate Diploma) を取得した者又は令和3年3月31日までに取得見込みの者
ただし、国際バカロレア資格を取得見込みで出願し、合格した者が、令和3年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格を取り消す。
- (2) 日本語を母語とする者又は国際バカロレア資格の取得において日本語A (SL)・日本語A (HL)・日本語B (HL)のいずれかを履修している者

2. 出願期間

令和2年10月1日 (木) から令和2年10月5日 (月) まで

ただし、出願期間後に到着した場合でも、10月5日以前の発信局消印のある「書留速達」に限り受理する。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定する。

4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等

(1) 日程及び試験場

令和2年11月28日 (土)

東京学芸大学 (東京都小金井市貫井北町4-1-1)

(2) 出題教科・科目等

課程 (類)	選修・専攻・コース	出題教科・科目等
初等教育教員養成課程 (A類)	国 語 選 修	面 接 試 問
	社 会 選 修	面 接 試 問
	数 学 選 修	面 接 試 問
	理 科 選 修	面 接 試 問
	美 術 選 修	面 接 試 問
	保 健 体 育 選 修	面 接 試 問
	家 庭 選 修	面 接 試 問
	英 語 選 修	面接試験 (一部英語含む)
	学 校 教 育 選 修	面 接 試 問
	学 校 心 理 選 修	面 接 試 問
	国 際 教 育 選 修	面 接 試 問
も の づ く り 技 術 選 修	面 接 試 問	
中等教育教員養成課程 (B類)	国 語 専 攻	面 接 試 問
	社 会 専 攻	面 接 試 問
	数 学 専 攻	面 接 試 問
	理 科 専 攻	面 接 試 問
	美 術 専 攻	面 接 試 問
	保 健 体 育 専 攻	面 接 試 問
	家 庭 専 攻	面 接 試 問
	技 術 専 攻	面 接 試 問
英 語 専 攻	面接試験 (一部英語含む)	

課程 (類)	選修・専攻・コース	出題教科・科目等
特別支援教育教員養成課程 (C類)		面接試験
教育支援課程 (E類)	教育支援専攻 生涯学習コース	面接試験
	教育支援専攻 カウンセリングコース	面接試験
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	面接試験
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	面接試験

5. 配点一覧表

課程 (類)	選修・専攻・コース	面接試験
初等教育教員養成課程 (A類)	国語選修	100
	社会選修	100
	数学選修	100
	理科選修	100
	美術選修	100
	保健体育選修	100
	家庭選修	100
	英語選修	100
	学校教育選修	100
	学校心理選修	100
	国際教育選修	100
	ものづくり技術選修	100
中等教育教員養成課程 (B類)	国語専攻	100
	社会専攻	100
	数学専攻	100
	理科専攻	100
	美術専攻	100
	保健体育専攻	100
	家庭専攻	100
	技術専攻	100
英語専攻	100	
特別支援教育教員養成課程 (C類)		100
教育支援課程 (E類)	教育支援専攻 生涯学習コース	100
	教育支援専攻 カウンセリングコース	100
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	100
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	100

VIII. 受験に際して配慮を必要とする志願者の事前相談

- 障がいがある等の理由で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに事前相談申し出書（診断書等関係書類添付）を提出し、あらかじめ本学と相談のうえ出願すること。事前相談申し出書の内容や申請方法の詳細については、各学生募集要項を参照すること。
なお、内容によっては対応に時間を要することもあるので、出願する前のできるだけ早い時期に申し出ることが望ましい。
- 障がい等のある志願者が、選抜の際に不利に扱われることはない。
- 相談締切日
一般選抜（前期日程・後期日程）……………令和3年1月4日（月）
国際バカロレア選抜……………令和2年9月1日（火）
学校推薦型選抜……………令和2年10月1日（木）
スーパーアスリート推薦選抜……………令和2年10月1日（木）
帰国生選抜……………令和2年12月1日（火）
私費外国人留学生選抜……………令和2年12月1日（火）
- 問い合わせ先
東京学芸大学学務部入試課

IX. 学生募集要項の請求方法

1. 配布・郵送開始時期

学校推薦型選抜・スーパーアスリート推薦選抜学生募集要項	令和2年9月中旬
帰国生選抜・私費外国人留学生選抜学生募集要項	令和2年10月上旬
一般選抜（前期日程・後期日程）学生募集要項	令和2年11月上旬

2. 請求方法

(1) 郵送により請求する場合

- ・テレメールのウェブサイトから請求する
 - ① テレメールのウェブサイトアクセスする。<https://telemail.jp/shingaku>
 - ② 「大学名から探す」の入力欄に「東京学芸大学」と入力する。
 - ③ 「学校一覧」から「東京学芸大学」を選択する。
 - ④ ページ内の指示に従い、資料請求する。（郵送開始時期までの請求は予約受付となる。）
- ・テレメールの自動音声応答電話を利用する
 - ① テレメールのIP電話に電話をかける。
IP電話 050-8601-0101
（24時間受付。国内一般電話回線からの通話料金は3分毎に約12円。）
 - ② 本学の資料番号（6桁）をプッシュする。

資 料 名	資料請求番号
大学案内	562022
入学者選抜要項	582022
入学者選抜要項+大学案内	562012
一般選抜学生募集要項	582002
一般選抜学生募集要項+大学案内	542002
学校推薦型選抜・スーパーアスリート推薦選抜学生募集要項	582012
学校推薦型選抜・スーパーアスリート推薦選抜学生募集要項+大学案内	542012
帰国生選抜・私費外国人留学生選抜学生募集要項	562032
帰国生選抜・私費外国人留学生選抜学生募集要項+大学案内	562042

- ③ ガイダンスに従って登録する。
 - ・発送開始時期までの請求は予約受付となる。
 - ・料金は、資料に同封されている料金支払い用紙の支払い方法に従い支払うこと。

「請求方法(1)」についての問い合わせ先

<p>テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)</p>

(2) 大学窓口で直接受け取る場合

入試課窓口（本部棟1階）で配布。（平日9：00～12：00，13：00～17：00）

正門守衛所：平日（8：30～9：00，12：00～13：00，17：00～21：30）土・日・祝日（8：30～21：30）

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学 学務部 入試課

X. ウェブサイトでの情報提供

本学では公式ウェブサイト及び公式ツイッターにて随時、情報提供を行っています。

また、災害等により、公式ウェブサイトが閲覧できなくなった場合、臨時公式ウェブサイト及び公式ツイッターにて情報提供を行います。

なお、入試に関する情報（出願状況速報等）については入学情報（学部）のページをご覧ください。

「公式ウェブサイト」>「入試について」>「入試情報」>「学部入試情報サイト」

令和3年1月27日～ 出願状況速報

3月6日～ 前期日程の合格者受験番号一覧の掲載※

3月20日～ 後期日程の合格者受験番号一覧の掲載※

3月27日～ 追加合格を行う場合は、その実施状況の速報（午後8時以降）

※ウェブサイトでの合格者受験番号一覧は補助的なサービスなので、必ず本学掲示板又は合格通知書で確認してください。

東京学芸大学ウェブサイト

<https://www.u-gakugei.ac.jp/>

公式ツイッター

<https://twitter.com/TokyoGakugei>

臨時公式ウェブサイト

<https://sites.google.com/site/gakugeiweb/>

東京学芸大学

令和2年度 入試結果情報

令和2年度以前については本学ウェブサイトに掲載しています。

令和2年度 教育学部入学者選抜試験(一般選抜)

類	選修・専攻 ・コース	募集 人員	日程	日程 別 募集 人員	志願者数			志願 倍率	受験者数			合格者数			入学手続者数			追加合格者 数			追加入学手 続者数			合格者数合計			入学手続者数 合計			入学者数					
					男	女	合計		男	女	合計	a	男	女	合計	b	男	女	合計	c	男	女	合計	d	男	女	合計	a+c	男	女	合計	b+d	男	女	合計
E類	生涯学習	35	前	30	79	26	53	2.6	77	24	53	32	12	20	29	10	19							32	12	20	29	10	19	29	10	19			
			後	5	65	21	44	13.0	24	9	15	8	2	6	6	1	5								8	2	6	6	1	5	6	1	5		
	カウンセリング	13	前	13	39	6	33	3.0	39	6	33	15	0	15	13	0	13							15	0	15	13	0	13	13	0	13			
	ソーシャルワーク	18	前	18	44	9	35	2.4	43	9	34	18	0	18	16	0	16	3	1	2	3	1	2	21	1	20	19	1	18	19	1	18			
	多文化共生教育	40	前	30	85	32	53	2.8	83	31	52	32	11	21	29	10	19							32	11	21	29	10	19	29	10	19			
			後	10	93	33	60	9.3	25	9	16	11	3	8	10	3	7								11	3	8	10	3	7	10	3	7		
	情報教育	15	前	10	35	21	14	3.5	35	21	14	12	7	5	10	6	4								12	7	5	10	6	4	10	6	4		
			後	5	37	25	12	7.4	21	14	7	6	5	1	5	4	1								6	5	1	5	4	1	5	4	1		
表現教育	15	前	15	56	14	42	3.7	56	14	42	17	4	13	16	4	12								17	4	13	16	4	12	16	4	12			
生涯スポーツ	18	前	18	40	33	7	2.2	38	32	6	20	16	4	18	14	4								20	16	4	18	14	4	18	14	4			
E類 計	154	前	134	378	141	237	2.8	371	137	234	146	50	96	131	44	87	3	1	2	3	1	2	149	51	98	134	45	89	134	45	89				
		後	20	195	79	116	9.8	70	32	38	25	10	15	21	8	13	0	0	0	0	0	0	0	25	10	15	21	8	13	21	8	13			
教育支援系合計	154	前	134	378	141	237	2.8	371	137	234	146	50	96	131	44	87	3	1	2	3	1	2	149	51	98	134	45	89	134	45	89				
		後	20	195	79	116	9.8	70	32	38	25	10	15	21	8	13	0	0	0	0	0	0	0	25	10	15	21	8	13	21	8	13			
		計	154	573	220	353	3.7	441	169	272	171	60	111	152	52	100	3	1	2	3	1	2	174	61	113	155	53	102	155	53	102				
総合計	884	前	721	1809	863	946	2.5	1762	833	929	780	367	413	742	348	394	3	1	2	3	1	2	783	368	415	745	349	396	743	348	395				
		後	163	1085	524	561	6.7	389	178	211	177	78	99	166	71	95	3	2	1	3	2	1	180	80	100	169	73	96	169	73	96				
			884	2894	1387	1507	3.3	2151	1011	1140	957	445	512	908	419	489	6	3	3	6	3	3	963	448	515	914	422	492	912	421	491				

- 課程(類), 選修・専攻・コース別の特別事項
 (1) 前期日程において第2志望を認める選修・専攻
 A類家庭選修とB類家庭専攻, A類ものづくり技術選修とB類技術専攻
 (2) 後期日程において第2志望を認める選修・専攻
 A類社会選修とB類社会専攻, A類数学選修とB類数学専攻, A類理科選修とB類理科専攻

令和2年度 教育学部入学者選抜試験(特別選抜)

類	選修・専攻 ・コース	推薦入学											高大接続プログラム														
		募集 人員	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数			志願者数			受験者数			合格者数			入学者数						
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
A類	国語	15	43	20	23	43	20	23	15	6	9	15	6	9	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	
	社会																										
	数学																										
	理科														1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
	音楽																										
	美術	10	19	2	17	19	2	17	10	0	10	10	0	10	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
	保健体育	10	30	18	12	29	18	11	10	4	6	10	4	6													
	家庭	3	8	0	8	8	0	8	3	0	3	3	0	3													
	英語	7	16	5	11	16	5	11	7	1	6	7	1	6	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
	学校教育																										
	学校心理																										
	国際教育	3	13	2	11	13	2	11	3	1	2	3	1	2													
	情報教育																										
	環境教育																										
	ものづくり技術	3	9	6	3	9	6	3	3	2	1	3	2	1													
幼児教育	4	20	0	20	20	0	20	4	0	4	4	0	4														
計	55	158	53	105	157	53	104	55	14	41	55	14	41	5	1	4	5	1	4	5	1	4	5	1	4		
B類	国語	5	16	3	13	16	3	13	5	1	4	5	1	4	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	
	社会																										
	数学																										
	理科														1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
	音楽																										
	美術	5	19	3	16	19	3	16	5	0	5	5	0	5													
	保健体育	10	16	9	7	15	9	6	10	7	3	10	7	3													
	家庭	2	6	0	6	6	0	6	2	0	2	2	0	2													
	技術	2	5	3	2	5	3	2	2	1	1	2	1	1													
	英語	7	22	7	15	22	7	15	7	2	5	7	2	5	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	
	書道	4	16	2	14	16	2	14	4	1	3	4	1	3													
計	35	100	27	73	99	27	72	35	12	23	35	12	23	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1		
C類特別支援教育(計)		5	28	3	25	28	3	25	5	0	5	5	0	5													
D類養護教育(計)																											
学校教育系合計		95	286	83	203	284	83	201	95	26	69	95	26	69	8	3	5	8	3	5	8	3	5	8	3	5	
E類	生涯学習																										
	カウンセリング	7	28	4	24	28	4	24	7	0	7	7	0	7													
	ソーシャルワーク	2	8	2	6	8	2	6	2	1	1	2	1	1													
	多文化共生教育														1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
	情報教育																										
	表現教育	5	23	3	20	23	3	20	5	0	5	5	0	5													
	生涯スポーツ	7	22	11	11	21	11	10	8	3	5	8	3	5													
	※SA生涯スポーツ	10	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5													
計	31	91	25	66	90	25	65	32	9	23	32	9	23	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1		
教育支援系合計		31	91	25	66	90	25	65	32	9	23	32	9	23	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
総計		126	377	108	269	374	108	266	127	35	92	127	35	92	9	3	6	9	3	6	9	3	6	9	3	6	

※ SA生涯スポーツは、スーパーアスリート推薦入試の選抜経過である。

類	選修・専攻 ・コース	帰国生										私費外国人留学生																		
		志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		志願者数		受験者数		合格者数		入学者数														
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女													
A 類	国語													1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	社会																													
	数学																													
	理科													1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	音楽																													
	美術																													
	保健体育																													
	家庭																													
	英語																													
	学校教育																													
	学校心理													2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	国際教育													1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	情報教育																													
	環境教育																													
	ものづくり技術																													
	幼児教育																													
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
B 類	国語																													
	社会													3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	数学	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0																	
	理科																													
	音楽	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0																	
	美術													3	1	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	
	保健体育																													
	家庭													1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	技術																													
	英語	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0																	
書道																														
計			3	1	2	3	1	2	0	0	0	0	7	5	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0		
C類特別支援教育(計)													1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
D類養護教育(計)		1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1																	
学校教育系合計		4	1	3	4	1	3	1	0	1	1	0	13	10	3	6	6	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0		
E 類	生涯学習												3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	カウンセリング	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4	1	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ソーシャルワーク												4	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	多文化共生教育	4	1	3	4	1	3	2	0	2	2	0	15	3	12	11	2	9	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1		
	情報教育																													
	表現教育												3	1	2	3	1	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1		
	生涯スポーツ																													
計			5	1	4	5	1	4	2	0	2	29	10	19	21	8	13	2	0	2	2	2	0	2	2	0	2			
教育支援系合計		5	1	4	5	1	4	2	0	2	2	0	29	10	19	21	8	13	2	0	2	2	2	0	2	2	0	2		
総計		9	2	7	9	2	7	3	0	3	3	0	42	20	22	27	14	13	3	1	2	3	1	2	3	1	2			

2. 令和2年度 学部入学者選抜試験(一般選抜)合格者最高点・最低点・平均点

類	選修・専攻	募集人員	日程	日程別募集人員	合格者数	最高点	最低点	平均点	配点		
									合計点	大学入試センター試験	東京学芸大学試験
A類	国語	65	前	55	57	920	786	846	1,350	900	450
			後	10	12	1,269	1,130	1,174	1,550	1,100	450
	社会	70	前	50	53	1,015	876	920	1,200	900	300
			後	20	22	1,003	871	913	1,200	900	300
	数学	65	前	50	53	1,092	878	965	1,350	900	450
			後	15	17	1,369	1,168	1,280	1,650	1,300	350
	理科	85	前	60	63	1,094	853	933	1,300	900	400
			後	25	27	969	684	861	1,300	900	400
	音楽	25	前	17	17	935	811	856	1,050	700	350
			後	8	8	-	-	-	940	700	240
	美術	15	前	15	17	925	700	764	1,050	700	350
	保健体育	30	前	30	33	997	861	911	1,200	700	500
	家庭	12	前	12	14	1,010	825	855	1,200	900	300
	英語	8	前	8	9	-	-	-	1,500	1,000	500
	学校教育	20	前	15	16	981	796	885	1,200	900	300
			後	5	2	-	-	-	1,200	900	300
	学校心理	20	前	12	12	986	896	932	1,200	900	300
			後	8	10	961	777	875	1,200	900	300
国際教育	12	前	12	14	1,080	974	1,018	1,350	900	450	
情報教育	20	前	15	16	948	795	844	1,300	900	400	
		後	5	6	-	-	-	1,400	1,100	300	
環境教育	20	前	15	16	924	828	881	1,200	900	300	
		後	5	7	-	-	-	1,300	900	400	
ものづくり技術	7	前	7	8	-	-	-	1,300	900	400	
幼児教育	16	前	16	18	1,105	941	1,021	1,250	900	350	
B類	国語	15	前	15	17	1,394	1,151	1,241	2,200	900	1,300
	社会	25	前	20	23	1,044	921	973	1,200	900	300
			後	5	5	-	-	-	1,200	900	300
	数学	25	前	20	22	1,736	1,436	1,577	2,100	1,100	1,000
			後	5	6	-	-	-	1,650	1,300	350
	理科	45	前	30	33	1,664	1,273	1,432	1,900	900	1,000
			後	15	11	1,031	614	861	1,300	900	400
	音楽	20	前	12	12	1,545	1,434	1,486	1,800	900	900
			後	8	8	-	-	-	2,250	900	1,350
	美術	15	前	15	17	1,105	945	1,033	1,400	700	700
	保健体育	10	前	10	12	982	831	897	1,150	700	450
	家庭	8	前	8	9	-	-	-	1,200	900	300
技術	8	前	8	9	-	-	-	1,300	900	400	
英語	8	前	8	9	-	-	-	1,500	1,000	500	
書道	16	前	16	18	1,041	848	925	1,700	700	1,000	

類	選修・専攻	募集人員	日程	日程別募集人員	合格者数	最高点	最低点	平均点	配点		
									合計点	大学入試センター試験	東京学芸大学試験
C類	特別支援教育	35	前	30	31	960	853	894	1,300	900	400
			後	5	6	-	-	-	1,300	900	400
D類	養護教育	10	前	6	6	-	-	-	1,300	900	400
			後	4	5	-	-	-	1,200	900	300
E類	生涯学習	35	前	30	32	1,160	928	982	1,400	900	500
			後	5	8	-	-	-	1,200	900	300
	カウンセリング	13	前	13	15	1,007	877	916	1,200	900	300
	ソーシャルワーク	18	前	18	18	1,015	939	977	1,400	900	500
	多文化共生教育	40	前	30	32	1,351	1,229	1,254	1,600	1,100	500
			後	10	11	1,420	1,227	1,267	1,600	1,100	500
	情報教育	15	前	10	12	985	812	891	1,400	900	500
			後	5	6	-	-	-	1,400	1,100	300
表現教育	15	前	15	17	1,994	1,791	1,866	2,600	1,300	1,300	
生涯スポーツ	18	前	18	20	1,000	866	921	1,200	700	500	

※合格者が10名に満たない選修・専攻・コース（日程別）の最高点・最低点・平均点は公表しない。
平均点は、小数第1位を四捨五入した。
合格者には、追加合格者を含まない。

3. 令和2年度教育学部入学者選抜試験基準点・配点一覧表

上段基準点 下段配点

前期日程

類	選修・専攻	大学入試センター試験									東京学芸大学 入学試験	
		国語	地歴 (注)3	公民 (注)3	数学① (注)3	数学② (注)3	理科① (注)3	理科② (注)3	外国語 (注)4	計		
A類	国語	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	140	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	450	
	社会	40	20	20	20	20	*20	*20	40	360	60	
		200	200		100	100	100		200	900	300 地歴・公民から1科目選択	
	数学	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	135	
		200	100		100	100	200		200	900	450	
	理科	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	各1	
		200	100		100	100	200		200	900	400 理科 2科目選択各200	
	音楽	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	音楽実技140 共通試験101	
		200	100		100	—	100		200	700	350 音楽実技200 共通試験150	
	美術	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	175	
		200	100		100	—	100		200	700	350	
	保健体育	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	体育実技90 面接60	
		200	100		100	—	100		200	700	500 体育実技300 面接200	
	家庭	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	120	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300	
	英語	40	*20	*20	20	20	*20	*20	100	400	275	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		300	1,000	500	
	学校教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	180	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300	
	学校心理	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	75	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300	
	国際教育	60	*30	*30	20	20	*20	*20	60	360	270	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	450	
	情報教育	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	20	
		200	100		100	100	200		200	900	400	
	環境教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	350	地歴・公民90又は理科各45	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300 地歴・公民から1科目(300)又は理科から2科目(各150)選択	
ものづくり技術	20	*10	*10	10	10	10	10	20	300	1		
	200	100		100	100	200		200	900	400		
幼児教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	実技25 面接150		
	200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	350 実技50 面接300		
B類	国語	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	337	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	1,300	
	社会	40	20	20	20	20	*20	*20	40	360	60	
		200	200		100	100	100		200	900	300 地歴・公民から1科目選択	
	数学	40	*20	*20	40	40	20	20	40	440	400	
		200	100		200	200	200		200	1,100	1,000	
	理科	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	各1	
		200	100		100	100	200		200	900	1,000 理科 2科目選択各500	
	音楽	60	*20	*20	*20	—	*20	*20	60	360	音楽実技420 共通試験210	
		300	*100	*100	*100	—	*100		300	900	900 音楽実技600 共通試験300	
	美術	20	*10	*10	*10	—	*10	*10	20	190	美術実技300 面接120	
		200	*100	*100	*100	—	*100		200	700	700 美術実技500 面接200	
	保健体育	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	135	
		200	100		100	—	100		200	700	450	
	家庭	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	120	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300	
	技術	20	*10	*10	10	10	10	10	20	300	1	
		200	100		100	100	200		200	900	400	
	英語	40	*20	*20	20	20	*20	*20	100	400	275	
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		300	1,000	500	
	書道	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	国語96 書道実技・書道理論240	
		200	100		100	—	100		200	700	1,000 国語400 書道実技・書道理論600	
	C類	特別支援教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	120
			200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	400
	D類	養護教育	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	小論文180 面接60
			200	100		100	100	200		200	900	400 小論文300 面接100

前期日程

類	コース	大学入試センター試験									東京学芸大学 入学試験
		国語	地歴 (注)3	公民 (注)3	数学① (注)3	数学② (注)3	理科① (注)3	理科② (注)3	外国語 (注)4	計	
E 類	生涯学習	20	*10	*10	10	10	*10	*10	20	360	200
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	500
	カウンセリング	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	183
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	ソーシャルワーク	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	200
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	500
	多文化共生教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	80	220	250
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		400	1,100	500
	情報教育	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	25
		200	100		100	100	200		200	900	500
	表現教育	30	*10	*10	10	10	*10	*10	50	130	520
		300	*100又は200		100	100	*100又は200		500	1,300	1,300
	生涯スポーツ	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	150
		200	100		100	—	100		200	700	500

(注) 1. 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。

2. 大学入試センター試験の *印付きは、選択教科・科目を示す。「*100又は200」については、1科目選択の場合は100、2科目選択の場合は200とする。

3. 地理歴史・公民⇒「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、『倫理、政治・経済』(『倫理、政治・経済』は1つの科目である。)

数学①⇒「数学Ⅰ・数学A」

数学②⇒「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」

理科①⇒「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」(理科①は2科目を利用。)

理科②⇒「物理」、「化学」、「生物」、「地学」

4. 外国語において、英語を選択した場合は、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を本表に示した外国語の配点に換算する。ただし、リスニングについて、大学入試センター試験の受験特別措置により受験が免除された場合は、筆記の得点を本表に示した外国語の配点に換算する。

○合否判定基準について

本学では、大学入試センター試験の科目の得点及び合計得点と、東京学芸大学入学試験の科目の得点のうち、1科目でも本学の定めた得点に達していない場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とする制度を採用している。

本学が指定した東京学芸大学入学試験の指定の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外する。

○この一覧表は、令和2年度学部入学者選抜試験(一般選抜)の基準点であり、令和3年度学部入学者選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。

後期日程

類	選修・専攻・コース	大学入試センター試験									東京学芸大学 入学試験
		国語	地歴 (注)3	公民 (注)3	数学① (注)3	数学② (注)3	理科① (注)3	理科② (注)3	外国語 (注)4	計	
A類	国語	80	*20	*20	20	20	*20	*20	40	440	261
		400	*100又は200		100	100	*100又は200		200	1,100	450
	社会	40	20	20	20	20	*20	*20	40	360	60
		200	200		100	100	100		200	900	300
	数学	40	*20	*20	60	60	20	20	40	520	210
		200	100		300	300	200		200	1,300	350
	理科	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	160
		200	100		100	100	200		200	900	400
	音楽	40	*20	*20	20	—	*20	*20	40	280	190
		200	100		100	—	100		200	700	240
	学校教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	180
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	学校心理	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	360	90
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	情報教育	40	*20	*20	40	40	20	20	40	440	150
		200	100		200	200	200		200	1,100	300
	環境教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	350	120
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	400
B類	社会	40	20	20	20	20	*20	*20	40	360	60
		200	200		100	100	100		200	900	300
	数学	40	*20	*20	60	60	20	20	40	520	210
		200	100		300	300	200		200	1,300	350
	理科	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	160
		200	100		100	100	200		200	900	400
	音楽	60	*20	*20	*20	—	*20	*20	60	360	音楽実技683 共通試験180
		300	*100	*100	*100	—	*100		300	900	1,350 音楽実技1,050 共通試験300
C類	特別支援教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	40	400	160
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	400
D類	養護教育	40	*20	*20	20	20	20	20	40	360	180
		200	100		100	100	200		200	900	300
E類	生涯学習	20	*10	*10	10	10	*10	*10	20	360	90
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		200	900	300
	多文化共生教育	40	*20	*20	20	20	*20	*20	80	220	300
		200	*100又は200		100	100	*100又は200		400	1,100	500
情報教育	40	*20	*20	40	40	20	20	40	440	150	
	200	100		200	200	200		200	1,100	300	

- (注) 1. 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。
2. 大学入試センター試験の *印付きは、選択教科・科目を示す。「*100又は200」については、1科目選択の場合は100、2科目選択の場合は200とする。
3. 地理歴史・公民⇒「世界史B」,「日本史B」,「地理B」,「現代社会」,『倫理, 政治・経済』(『倫理, 政治・経済』は1つの科目である。)
- 数学①⇒「数学Ⅰ・数学A」
 数学②⇒「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」
 理科①⇒「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」(理科①は2科目を利用。)
 理科②⇒「物理」,「化学」,「生物」,「地学」
4. 外国語において、英語を選択した場合は、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を本表に示した外国語の配点に換算する。ただし、リスニングについて、大学入試センター試験の受験特別措置により受験が免除された場合は、筆記の得点を本表に示した外国語の配点に換算する。

○合否判定基準について

本学では、大学入試センター試験の科目の得点及び合計得点と、東京学芸大学入学試験の科目の得点のうち、1科目でも本学の定めた得点に達していない場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とする制度を採用している。

本学が指定した東京学芸大学入学試験の指定の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、選抜の対象から除外する。

○この一覧表は、令和2年度学部入学者選抜試験(一般選抜)の基準点であり、令和3年度学部入学者選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。

令和2年度教育学部入学者選抜試験(推薦入試・スーパーアスリート推薦入試)基準点・配点一覧表

上段基準点 下段配点

課程(類)	選修・専攻・コース	面接	小論文	実技試験	合計
初等教育教員養成課程(A類)	国語選修	-	-	-	218
		180	120	-	300
	美術選修	-	-	-	120
		100	100	100	300
	保健体育選修	-	-	-	150
		100	100	100	300
	家庭選修	-	-	-	150
		100	200	-	300
	英語選修	-	-	-	200
		100	200	-	300
国際教育選修	-	-	-	190	
	200	100	-	300	
ものづくり技術選修	-	-	-	100	
	150	150	-	300	
幼児教育選修	-	-	-	180	
	150	100	50	300	
中等教育教員養成課程(B類)	国語専攻	-	-	-	227
		180	120	-	300
	美術専攻	-	-	-	120
		100	100	100	300
	保健体育専攻	-	-	-	150
		75	75	150	300
	家庭専攻	-	-	-	150
		100	200	-	300
	技術専攻	-	-	-	100
		150	150	-	300
英語専攻	-	-	-	200	
	100	200	-	300	
書道専攻	-	-	-	150	
	100	100	100	300	
特別支援教育教員養成課程(C類)	-	-	-	100	
	150	150	-	300	
教育支援課程(E類)	教育支援専攻	-	-	-	100
	カウンセリングコース	200	100	-	300
	教育支援専攻	-	-	-	120
	ソーシャルワークコース	100	200	-	300
	教育支援専攻	-	-	-	150
	表現教育コース	200	100	-	300
	教育支援専攻	-	-	-	150
	生涯スポーツコース	100	100	100	300
教育支援専攻・生涯スポーツコース (スーパーアスリート推薦入試)	-	-	-	150	
	150	150	-	300	

(注) 入試配点(下段)に対する基準点(上段)である。

○合否判定基準について

本学では、小論文、実技、面接等の得点の合計が、本学の定めた得点に達していない場合は不合格とする制度を採用している。

○この一覧表は、令和2年度学部入学選抜試験(推薦入試・スーパーアスリート推薦入試)の基準点であり、令和3年度学部入学選抜試験の基準点については、あらためて定めることになる。

